



CSR取り組みに関する報告書

シスメックス
あんしんレポート
2008





診断・治療から予防・健康維持まで——

シスメックスは、医療、ヘルスケアの領域において、
人々のかけがえのない生命と健康を支えています。

編集にあたって

編集方針

シスメックスの企業としての社会的責任(CSR)とその活動について、ステークホルダーの皆様への説明責任を果たすとともに、皆様との対話を深めることを目的として、CSRの取り組みに関する報告書「シスメックスあんしんレポート」を発行します。

第2回の発行となる今回は、ページ数を増やし、当社のCSR活動ができるだけ網羅的に報告するとともに、いっそうの内容の充実を図っています。また、当社の事業における特徴的な取り組みについては、2つの「特集」を組んで報告しています。さらに、社会・環境側面のページでは、活動の実績や進捗度を把握していただきやすくするために、数字や写真を多く掲載しています。

報告範囲

対象期間

2007年度(2007年4月1日から2008年3月31日)を中心に、一部それ以外の期間の活動についても記載しています。

対象組織

シスメックス株式会社ならびにグループ会社であるシスメックス国際試薬株式会社を中心に、一部それ以外のグループ会社の情報についても記載しています。

- ・社会的側面：シスメックス株式会社、シスメックス国際試薬株式会社と一部それ以外のグループ会社
- ・環境的側面：シスメックス株式会社、シスメックス国際試薬株式会社と一部それ以外のグループ会社
- ・経済的側面：シスメックスグループ全体

参考にしたガイドライン

- ・環境省「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」
「環境報告ガイドライン(2007年版)」
- ・GRI(Global Reporting Initiative)
「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2002/2006」

発行時期

2008年7月

本報告書に関するお問い合わせ先

シスメックス株式会社 CSR推進室
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
TEL. 078-265-0500(代表) FAX. 078-265-0524

将来に関する予測・計画について

本報告書には、シスメックス株式会社とそのグループ会社に関する過去の事実だけでなく、将来の予測・計画なども記載しています。これらの予測・計画は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、不確実性が含まれています。したがって、将来の事業活動の結果や将来に起こる事象が本報告書に記載した予測・計画とは異なったものとなる可能性があります。読者の皆様には、以上をご承知いただけますようお願いいたします。

目次

シスメックスについて	3
トップメッセージ	5
企業理念・行動基準	7

特集1 乳がん患者さん一人ひとりに最適な治療を見つけるために	9
---------------------------------------	---

特集2 いつでもどこでも、正確な検査結果を提供するために	11
-------------------------------------	----

コーポレート・ガバナンス	15
--------------	----

お客様への責任と行動	17
従業員への責任と行動	19
取引先への責任と行動	23
株主への責任と行動	25
企業市民としての責任と行動	27

地球環境への責任と行動	31
環境方針	31
事業活動にともなう環境負荷	32
環境マネジメント	33
2007年度環境活動計画と実績	34
環境に配慮した製品の開発	35
生産工場・事業所における環境配慮	36

シスメックスについて

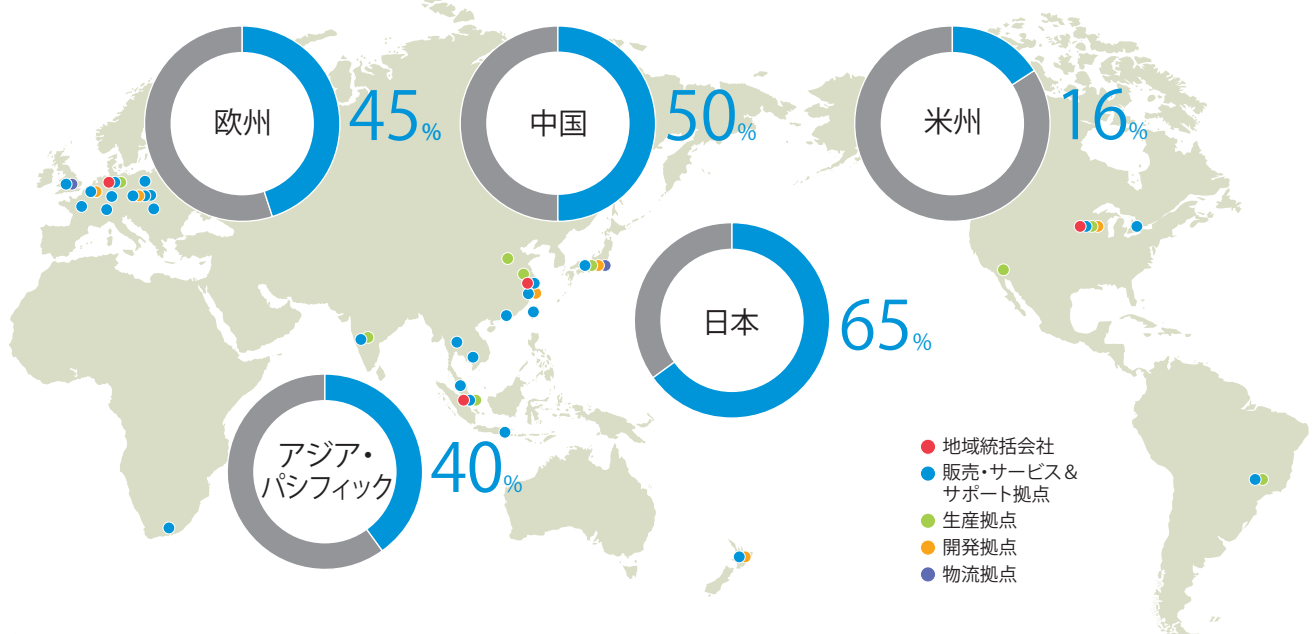
創立40周年を迎え、シスメックスグループは 血球計数分野で世界シェアNo.1企業に成長しました

シスメックスは1968年の創業以来、血球計数装置をはじめとするさまざまな検体検査装置・試薬を開発し、提供してきました。現在では、事業領域を拡大し、検体検査分野およびライフサイエンス分野における事業を中核としたグローバル企業として成長を続けています。検体検査分野においては、世界150カ国以上の病院・診療所などの医療機関に向けて、血液分析装置や尿・免疫検査装置などの製品やサービス&サポートを提供しています。ライフサイエンス分野においては、がん・糖尿病などの病気に対して価値の高い検査や診断技術の開発に取り組んでいます。

グループのグローバルネットワーク

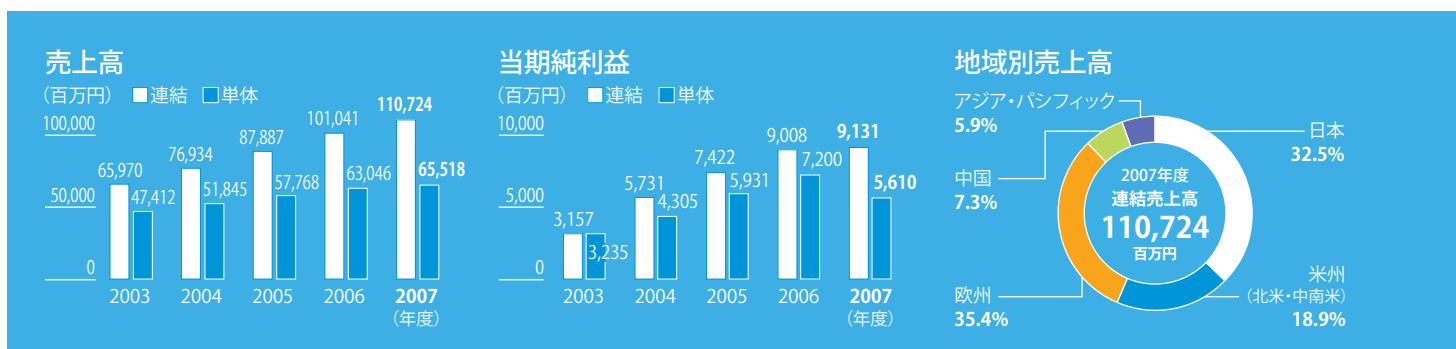
世界150カ国以上の医療機関に製品・サービスを提供しています。

注) 円グラフは、血球計数分野での当社シェア
(2006年度、当社推定)



会社概要

商号	シスメックス株式会社 SYSMEX CORPORATION	事業内容	臨床検査機器、検査用試薬、粒子分析機器ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入
設立	昭和43年(1968年)2月20日	主な販売先	国立病院、一般病院、大学、研究所、その他医療機関 ほか
資本金	86億5,100万円	輸出先	世界150カ国以上
代表者	代表取締役社長 家次 恒	連結対象会社	37社(国内6社、海外31社)
本社	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号		



事業内容

検体検査事業

検体検査事業では、血液中の赤血球・白血球の数や機能を分析する血球計数検査、血液が固まって止血する働きを調べる血液凝固検査、肝炎ウイルスなどの有無を調べる免疫血清検査、尿中の糖・タンパク質・血球の有無を調べる尿検査などの検体検査に必要な装置や試薬、臨床検査情報システムなどの製品とサービス&サポートを幅広く提供しています。

血液分析装置



HS搬送システム
HSTシリーズ



多項目自動血球
分析装置
XE-5000



多項目自動血球
分析装置
XT-2000i

血液凝固測定装置



全自動血液凝固
測定装置
CS-2000i

全自動免疫測定装置



全自動免疫測定装置
HISCL-2000i

尿検査装置



全自動尿中有形成分
分析装置
UF-1000i

ITソリューション



臨床検査
情報システム
SIS

検体検査試薬



凝固試薬

簡易検査用キット



インフルエンザ
ウイルスキット
ボクテムS
インフルエンザ

ライフサイエンス事業

ライフサイエンス事業では、がん細胞の転移の有無を検出する遺伝子増幅検出装置など、特にがんを対象として、その予防や再発・悪化予防のための新しい診断技術の開発に取り組んでいます。



遺伝子増幅検出装置
RD-100i

新規事業

科学計測分野では、セラミックス、電子材料、研磨剤、食品などの産業に、細粒子を正確に計測・評価する装置を提供しています。また、健康分野では、採血せずにヘモグロビンを測定する装置など、独自の技術を活かした新しい分野への挑戦を続けています。

科学計測分野 (産業用粒子計測装置)



フロー式粒子像分析装置
FPIA-3000



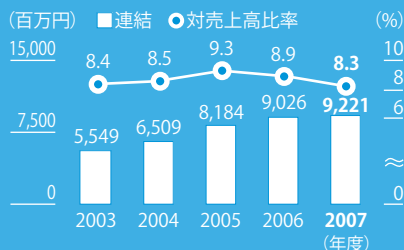
シースフロー電気抵抗式
粒度分布測定装置 SD-2000

健康分野

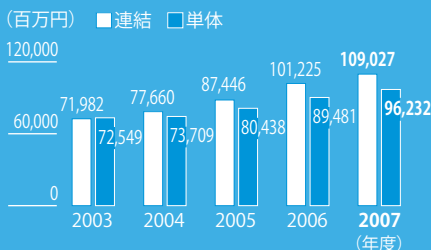


末梢血管
モニタリング装置
ASTRIM SU

研究開発費



総資産



従業員数



世界の人々の生命と健康を支える
価値の高い検査・診断技術を創出しお届けすること。
そして皆様に「安心」していただくこと。
それがシスメックスの使命です。

医療・ヘルスケアの分野で、 グローバルに成長する企業としての使命

シスメックスは創立以来40年間、検体検査における製品・サービスを医療機関にご提供することで、「検査」の領域で医療を支え続けてきました。近年では、がんや糖尿病などのライフサイエンス分野にも研究開発テーマを拡大し、新しい検査・診断技術の創出に取り組んでいます。グローバルに成長を続け、現在、製品は世界150カ国以上で販売されており、海外売上高比率は67.5%（2008年3月末現在）を占めるまでになりました。

シスメックスは、世界の人々の生命と健康を支える企業として、医療・ヘルスケアの分野で価値の高い検査・診断技術を創出しお届けすることで、皆様に「安心」していただくことを使命としています。シスメックスにとって、この使命を追求していくことが第一に果たさなければならない社会的責任であり、また、社会の皆様に向けてパワーを最大限に発揮できるかたちであると考えています。

世界の医療・ヘルスケアが抱える さまざまな課題の解決に貢献

世界の医療・ヘルスケアを取り巻く状況を見ると、先

進国では、高齢化の進展や生活習慣病の増加、それにもなう医療費の増大が大きな問題となっています。新興国では、経済発展とともに医療ニーズが高まっているにもかかわらず、地域によっては医療インフラの整備がまだあまり進んでいません。発展途上国では、多くの人々が基本的な医療も受けられず、感染症など多くの病気が流行しています。2000年に採択された国連ミレニアム開発目標にも、国際社会が一致して取り組むべき課題として、途上国での「HIV／エイズ、マラリアなどの感染症の蔓延防止」と「乳幼児・妊産婦の死亡率低下」が掲げられていますが、状況は依然深刻なままです。その他にも、世界各地で地震などの災害時に、復旧支援の遅れが原因でさまざまな健康被害が発生していることなど、人々の生命・健康を脅かす課題は多くあります。

シスメックスは、事業を通じて培ってきた技術やノウハウを活かした製品やサービスを提供することで、こうした課題の解決に取り組んでいます。例えば、新しい検査技術として、このたび、日本で初めて乳がんリンパ節転移検査の自動化に成功しました。この検査は、短時間で高精度にがん細胞のリンパ節への転移の有無を検査することができるため、がんの再発リスクの低減に貢献



するとともに、患者さんの手術中の負担軽減にも役立ちます。現在、日本のほかヨーロッパでも販売を開始しています。

発展途上国では、医療の普及を目指した活動にも取り組んでいます。南アフリカ地域ではHIV／エイズ検査装置を、インドネシアでは母子の健康改善に取り組むNPOを通じて血液検査装置を、現地の医療施設に寄贈し、役立てていただいています。また2008年5月に発生した中国四川省大地震では、地震直後に当社のサービス担当者が現地の医療施設を訪問して検査装置の点検や修理にあたるなど、復旧を支援しました。

企業市民としての地域社会参画と、地球環境保全に向けた活動

一方で、シスメックスは、地域社会への参画や地球環境の保全についても重要な社会的責任のひとつであると考えており、積極的に取り組んでいます。

地域社会への参画については、地元神戸の医療産業都市構想への参画をはじめとして、世界各地で医療・スポーツ・科学技術などさまざまな分野で企業市民として積極的に活動しています。また、地球環境の保全につい

ては、製品の環境配慮設計や生産工場のゼロエミッション、輸送時の環境負荷低減など、開発・生産・販売サービスの事業活動全体で環境負荷低減に取り組んでいます。

さらなる医療の発展に向けて 新研究開発拠点を竣工

2008年10月には、シスメックスの強みである研究開発機能をさらに高めるために、新たな研究開発拠点「テクノパーク」(神戸市)を竣工します。今後、このテクノパークを中心として、これまで以上に医療の発展に貢献できる検査・診断技術の研究開発を推進してまいります。

ステークホルダーの皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年7月

代表取締役社長

冨次 恒

シスメックスグループ企業理念

Systemex Way

Mission

ヘルスケアの進化をデザインする。

Value

私たちは、独創性あふれる新しい価値の創造と、人々への安心を追求し続けます。

Mind

私たちは、情熱としなやかさをもって、自らの強みと最高のチームワークを発揮します。

行動基準

お客様に対して

常にお客様の視点で行動し、確かな品質ときめ細やかなサポートにより、お客様に安心を届けます。常にお客様が真に求めるものが何かを追求し、お客様の期待を超える新しい価値を提案します。

従業員に対して

多様性を受け入れ、一人ひとりの人格や個性を大切にすると共に、安心して能力が発揮できる職場環境を整えます。自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会、成果に応じた公正な処遇を提供します。

取引先に対して

公平・公正を基本とした幅広い取引により、取引先の皆様に安心を届けます。相互の信頼関係と研鑽により、取引先の皆様と共に発展する企業をめざします。

株主様に対して

経営の健全性と透明性を高め、積極的な情報開示とコミュニケーションで、株主の皆様へ安心を届けます。堅実かつ革新的な経営を推進し、持続的な成長と株主価値の向上に努めます。

社会に対して

法令遵守はもとより、常に高い倫理観にもとづいた事業活動を推進し、社会の全ての皆様へ安心を届けます。環境問題をはじめ地球や社会が抱える様々な問題の解決に、社会と共に取り組みます。



新企業理念「Sysmex Way」の実践に向けて、 グループ全体への浸透を進めています

すべてのステークホルダーに対し、 「安心」をお届けすることを宣言しました

2007年4月1日、シスメックスは新しいグループ企業理念「Sysmex Way」と行動基準を制定しました。

これは、シスメックスが創業以来大切にしてきた経営基本方針「三つの安心」（お客様、取引先、従業員に安心をお届けするという考え方）をベースに、経営環境の変化に合わせて再定義したものです。この中で、シスメックスグループは、お客様、取引先、従業員の3者に加え、新たに株主と社会を含めたすべてのステークホルダーに対して「安心」をお届けすることを宣言しています。

全グループの従業員に向けて、 社長から直接、制定の背景と想いを伝えました

グループ全体でSysmex Wayを実践していくために、2007年4月から約半年をかけて、日本では14カ所、海外では、ドイツ、米国、中国、シンガポールの4カ所で「企業理念説明会」を開催しました。

説明会では、社長が自らの言葉で世界各国のグループ従業員に対して、Sysmex Wayを制定した背景と、そこに込められた想いや価値観を伝えました。従業員からも熱心に質問が投げかけられ、社長との間で活発な質疑応答が交わされました。

実践に向けた計画を全部門で策定しました

2007年度には、部門長をはじめとする管理職を対象とした「企業理念浸透研修」も開催しました。

研修後、各部門長は研修で議論したことを踏まえて自らの想いも交えながら、各部門の従業員に向けてSysmex Wayに

ついて説明しました。さらに、部門実行計画を策定し、各部門でSysmex Wayを実践していくための準備を整えました。

海外のグループ会社に関しても、現地統括会社の社長が中心となって世界各国のグループ会社でSysmex Wayの浸透と実践を進めています。

従業員一人ひとりが主体的に考え、実践していきます

2008年4月には、従業員一人ひとりがSysmex Wayについて主体的に考える場を設けました。イントラネット上で「将来にわたり、シスメックスがステークホルダーの皆様にとって魅力ある企業であり続けるために、自分はどうのような行動をとるべきか」というテーマで従業員各自が具体的な行動を提案し、議論しています。

シスメックスグループが一体となって「新しい価値」を創造し、ステークホルダーの皆様へ「安心」をお届けしていくために、これからも従業員一人ひとりが新しい企業理念Sysmex Wayを実践していけるような企業風土を醸成していきます。



乳がん患者さん一人ひとりに 最適な治療を見つけるために

「科学的な根拠に基づいた適切な乳がん治療」を求める声に応じて、シスメックスは、乳がんの再発リスクを定量的に測定できる検査技術や、患者さん個々に適した抗がん剤の種類を調べられる検査技術の開発に取り組んでいます。

求められているのは 治療方針決定のための確かな根拠

日本人の死亡原因の第一位を占める「がん」。なかでも女性が発症するがんの第一位である乳がんは、死亡者数、罹患患者数ともに年々増加しており、治療成果の向上や、治療にともなう患者さんの負担低減が強く求められています。

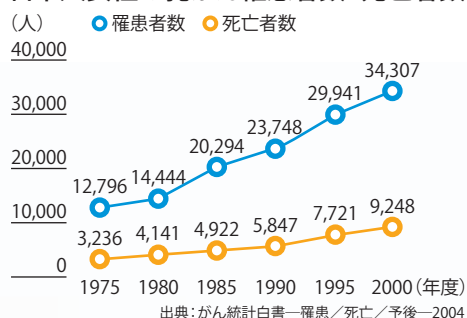
乳がんは、手術を受け、病巣を摘出したからといって治療が終わるわけではなく、手術後にも、転移と再発を防ぐための治療が必要です。この治療にあたっては、患者さん一人ひとりに最適な治療方針を立てることが大切ですが、そのための鍵を握っているのが「検査」です。

現在、手術後の治療方針の決定にあたって主な役割を果たしているのは、手術で切除したがん組織の病理検査です。この検査に

よって、乳がんの進行の程度、再発や転移の可能性を診断し、さらに患者さんの年齢、生活スタイルなども考慮して総合的に治療方針が決定されます。

しかしこの病理検査は、顕微鏡を使いがん細胞を目で見て判断することから、また手順や基準が統一されていないことから、結果にバラツキがあることが指摘されており、より一層科学的な根拠を提供できる新しい検査が求められています。

日本人女性の乳がん罹患患者数・死亡者数



客観的な数値に基づく 確かな根拠を提供

シスメックスはこうした切実な求めに応えて「乳がん再発予測技術」の開発に取り組んでいます。

この技術は、がん細胞内の、ある酵素の量や活性を測ることで、その細胞が活発に増殖・分裂するかどうかを「定量的」に測定し、再発リスクを予測するというものです。手術後の治療方針を決定するための確かな根拠となる「再発リスクの客観的な判定」を提供することができます。

2007年度には、この検査に用いる試薬の認可を取得するための治験に着手しました。

最適な抗がん剤を 投与前に予測する技術

シスメックスは同じ技術を応用して、一人ひとりの患者さんに対する抗がん剤の効き

目を予測する「抗がん剤効果予測技術」の開発にも取り組んでいます。

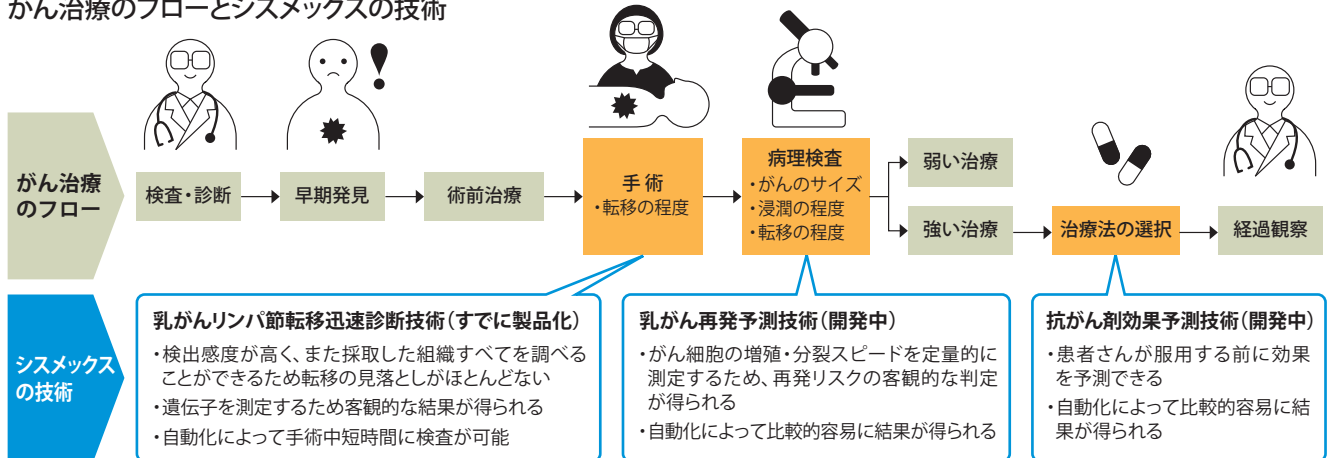
この技術が完成すれば、一人ひとりの患者さんに最適な抗がん剤の種類を、投与前に決めることができるようになりますと期待されています。

患者さん一人ひとりに最適な治療を、より一層正確に、より一層容易に見つけられるようになる日がくることを願って、シスメックスは、これらの技術を一日も早く製品化するために研究開発を推進していきます。



ライフサイエンス分野の研究開発

がん治療のフローとシスメックスの技術



TOPICS

乳がんリンパ節転移を迅速に診断できる 検査装置「RD-100i」と試薬「リノアンプBC」を日本でも発売

シスメックスは、乳がんの転移の有無を検査する装置「RD-100i」と、その専用試薬「リノアンプBC」を開発しました。遺伝子増幅検出技術を用いることで、高精度かつ短時間で、がんのリンパ節への転移を見つけることができます。

2008年6月には、厚生労働省から認可を受け、日本での販売を開始しました。現在、同様の技術を大腸がん検査に応用するための研究開発も進めています。



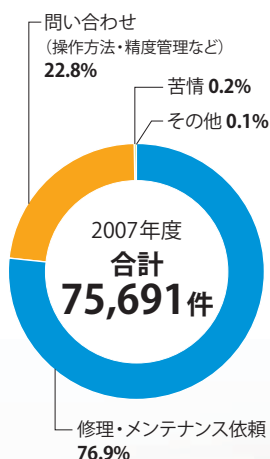
試薬「リノアンプBC」

検査装置「RD-100i」

いつでもどこでも、 正確な検査結果を提供するために

お客様の期待を超える高い満足をお届けするために、
そしてなによりも患者さんに正確な検査結果を提供し続けるために、
シスメックスはあらゆる角度から「検査」のサポート体制の強化・充実に努めています。

カスタマーサポート センターへの お問い合わせ内容内訳



検査の正確性確保の鍵を握る サポートの重要性

臨床検査装置には、使用状況により微妙な変化が起こり、それによって測定結果にも微妙なずれが生じることがあります。したがって、正しい検査結果を提供し続けるためには、どれほど微妙なものであったとしても、こうした変化やずれをいち早く捉え、迅速かつ確実に修正することができるサポート体制を整備することが、極めて重要です。

そこでシスメックスは、あらゆる角度から、検査データの正確性を確保するために役立つさまざまなサポートを提供しています。

24時間・365日、 いつでもお問い合わせが可能

お客様が検査装置の使用方法に疑問を持たったり、異変に気づいたときにすぐに問い合わせることができる電話相談窓口は、正しい検査データを維持するために重要な役割を担っています。

シスメックスのお客様サポート拠点「カスタマーサポートセンター」では、日本全国のお客様からの製品に関するお問い合わせに対して、豊富な知識を持った専任のスタッフが、24時間365日体制(別途契約が必要)で対応しています。

カスタマーサポートセンター

同センターでは、過去のお問い合わせ内容や装置のメンテナンス履歴などを蓄積し、いつでも呼び出せるようにすることで、迅速かつきめ細やかなサポートを可能にしています。メンテナンスや修理を担当する全国の支店、営業所の技術サービス員とも、緊密に連携して、お客さまからのご要望に対して迅速にサポートできる体制を築いています。さらに、製品についてのお問い合わせだけでなく、検査結果や分析結果に関する学術的なお問い合わせにも対応しています。

こうしたお客様相談窓口は、シスメックスが事業を展開する4地域(米州、欧州、中国、アジア・パシフィック)でも、それぞれの現地統括会社に設置しており、お客さまのお問い合わせに対応する体制をグローバルに整備しています。



センターでは、お問い合わせに対し、適切な対処方法その場でアドバイスできるよう、通話しながら、お客様のもとにあるものと同じ装置を使ってチェックが可能。

お客様へのトレーニングで 検査装置の性能を最大限に引き出して

正しい検査結果を確実に得るためには、使用にあたってお客様に装置検査の性能を

十分に引き出していただく必要があります。

そこでシスメックスでは、操作方法やメンテナンス方法を十分にご理解いただき、正しく使用していただくために、取扱説明書などでは十分に伝えることが難しいノウハウや知識を学んでいただく「カスタマートレーニング」を提供しています。

カスタマーサポートセンター内に専用のトレーニングルームを設置して、製品の基本的な操作方法から高度な学術的な見まで、複数のコースを用意して、お客様に納得いただくまで学んでいただいています。

このサービスは、日本にとどまらず世界各地のお客様にもご利用いただいています。



お客様のトレーニング受講風景

TOPICS

サービス活動に関する顧客満足度調査を実施

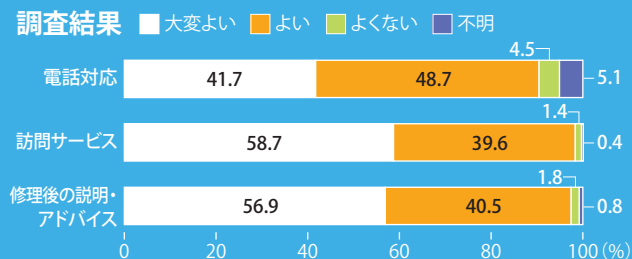
カスタマーサポートセンターは、毎年、医療機関や検査センターに対し、電話対応、訪問サービス、修理後の説明・アドバイスの3項目に関して顧客満足度調査を実施しています。

2007年度の調査結果では3項目とも「よい」「大変よい」の合計が約9割を占め、シスメックスのサービスにおおむねご満足いただいていることがわかりました。しかしこの結果に満足することなく、今後はさらに多くのお客様に「大変よい」とご回答いただけるように、お客様の待ち時間を最小限にするために電話対応の人員を増強するなど、さらなるサービスの向上に努めていきます。

調査の概要

調査方法：調査票ハガキ 調査対象施設：国内1,310施設
回収数(回収率)：513件(39.2%) 調査期間：5月21日～7月20日

調査結果



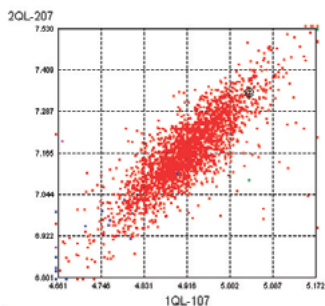
お客様に「基準」を提供する 精度管理サポート

毎日の検査データの信頼性を確保するために欠かせないのが、「コントロール」と呼ばれる専用の試料を測定し、その結果を前日の測定結果や他施設の測定結果と比較することによって検査装置の状態を検証する「精度管理」とよばれる手続きです。

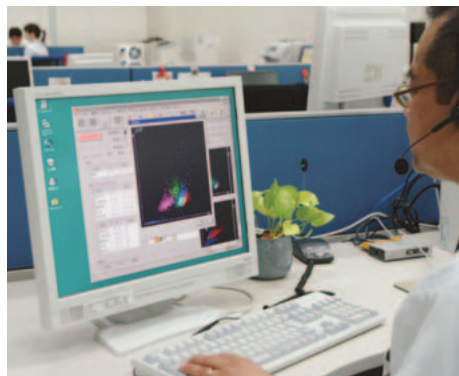
シスメックスでは、さまざまな方法で、お客様の精度管理を支援しています。

その一つが、コントロールと「標準値」の提供です。適切な状態に管理された当社の基準器でコントロールを測定し、その値をコントロールとともに「標準値」としてお客様に送付しています。お客さまは、各自の検査装置でこのコントロールを測定し、標準値と比較・分析することで、検査装置の状況を検証することができます。

このように、シスメックスは、世界中の医療機関に提供した検査装置について、日々の検査データの信頼性を保証し、いつでも同じ測定結果が得られるようしくみを整備しています。



各医療機関のコントロールの測定値(個々の赤い点)を集計した分布図。お客様は、オンラインで迅速に届けられるこの分布図で自らの装置の状態を他機関の装置の状態と比較し、分析することが可能。(eQAPiシステム)



SNCSでは、お客様と当社センターのスタッフが同じ画面を共有。お客様の装置の状態が画面を通じて把握可能。

ネットワークシステムで トラブルの予兆を察知して迅速にご連絡

シスメックスでは、お客さまのもとにある検査装置と、当社のカスタマーサポートセン

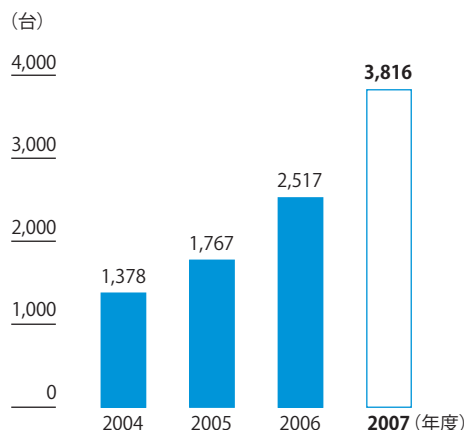
ターをオンラインで結ぶ、シスメックス・ネットワーク・コミュニケーション・システムズ(SNCS)を構築しています。カスタマーサポートセンターでは、このSNCSを通じてコントロールの測定データを受信し、分析結果を送信するサービスも提供しています。

また、このSNCSを活用すれば、お問い合わせがあった時点での検査装置の状態をリアルタイムに把握し、即座にご回答することができます。また、お客様が気づく前にトラブルの予兆を察知して、お客様にご連絡することも可能です。2007年度は、トラブルの可能性を毎月600件以上事前に察知してお客様にご報告しました。

シスメックスでは、このSNCSの海外展開も進めており、世界中で多くのお客様にご利用いただいています。

今後はこのSNCSに、お客様に動画や3D画像でわかりやすくメンテナンス方法をお伝えする機能を搭載することを検討しています。

世界でのSNCS加入台数



メンテナンス技能の グローバルな標準化を目指して

故障やトラブルが発生した時に、お客様のもとに駆けつけ、修理・メンテナンスを担当する技術サービス員の対応も、万全のサポートを実現するために欠かせない要素の一つです。



標準器室(テクノセンター)

2008年度からは、日本各地の営業所で休日も技術サービス員が交代で待機する体制を整備しました。これによって365日訪問メンテナンス(別途契約が必要)が可能となり、装置の復旧のさらなる迅速化を実現しました。

さらにシスメックスでは、技術サービス員のメンテナンス技能をグローバルに標準化していくために、「グローバル・サーティフィケーション・システム」と名づけた資格制度を導入しています。この制度は、知識と実技の両面で一定の水準を満たした技術サービス員にトレーナーの資格を与え、後進の指導にあたらせるというものです。世界中のお客様に高いレベルのメンテナンスを提供するために、トレーナーは日々世界各地でサービス員の技能の維持、強化に努めています。

お客様のために、そしてなによりもその先にいる患者さんのために、いつでもどこでも正確な検査が提供できるよう、シスメックスはこれからもグローバルにお客様サポート体制の強化を進めていきます。

TOPICS

シスメックス製品がモンゴルで精度管理の基準器に

モンゴルでは、経済発展にともなって医療インフラの整備が進みつつあります。しかし検体検査においては、機器・試薬メーカーの正規代理店がないため、販売・サービスが安定的になされず、各医療機関における検査室内の精度管理に課題がありました。

当社は2007年9月に現地代理店を設置するとともに、学術啓発活動を実施してきましたが、2008年度には、製品の信頼性に加えてこうしたサポート体制が認められ、モンゴル厚生省から血液検査に関する基準器として当社の血液分析装置3台が採用されました。今後は、採用された当社の検査装置が中心となり、モンゴル全国の医療機関の精度管理が実施される予定です。なお、中国やタイにおいても、血液検査の基準器として当社の製品が採用されています。



多項目自動血球分析装置 XS-1000i

コーポレート・ガバナンス

社会から信頼され、支持される企業を目指して

シスメックスは、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組み、経営の健全性と透明性の向上に努めています。また、グループ全体のリスクマネジメントとコンプライアンスを推進していくために、国内および海外のグループ会社も含めた体制の整備を進めています。

コーポレート・ガバナンス体制

経営の健全性と透明性の向上に努めています

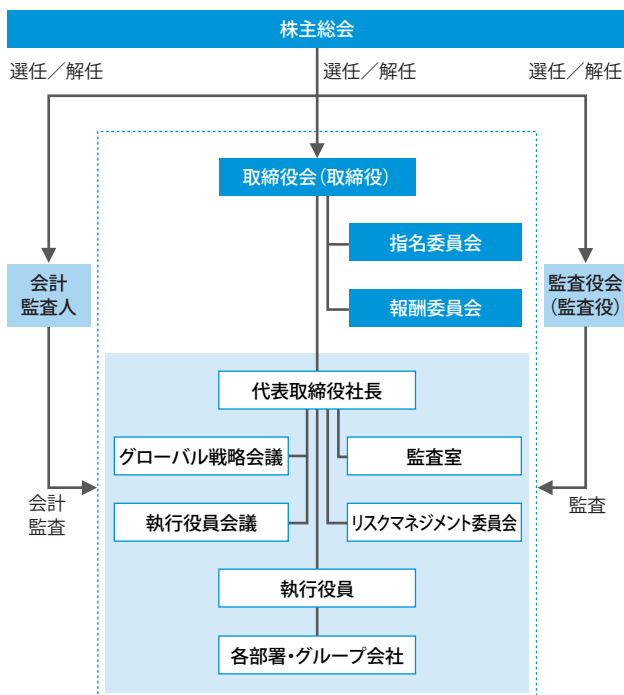
シスメックスは、コーポレート・ガバナンスの強化を重要な経営課題の一つとして位置づけています。経営の健全性と透明性を高め、経営スピードと経営効率を向上させることが、グループ全体の企業価値の最大化につながると考えています。

取締役会は取締役9名で構成し、経営に関する重要事項を審議しています。当社は監査役制度を採用しており、社外監査役2名を含む4名で構成する監査役会が、独立的な立場から客観的に取締役の職務遂行を監視しています。

2005年4月から、業務執行の意思決定スピードをいっそう高め、事業環境の変化に迅速に対応できるよう、執行役員制度を導入しています。同時に、委員会設置会社と同様の役割を持つ指名委員会と報酬委員会も設置しています。

また、ステークホルダーの立場を尊重するために、内部者取引管理規程や、環境管理規程、個人情報保護規程、コンプライアンス規程、臨床研究開発に関する倫理規程など、さまざまな規程を制定しています。

コーポレート・ガバナンス体制(2008年4月現在)



リスクマネジメント

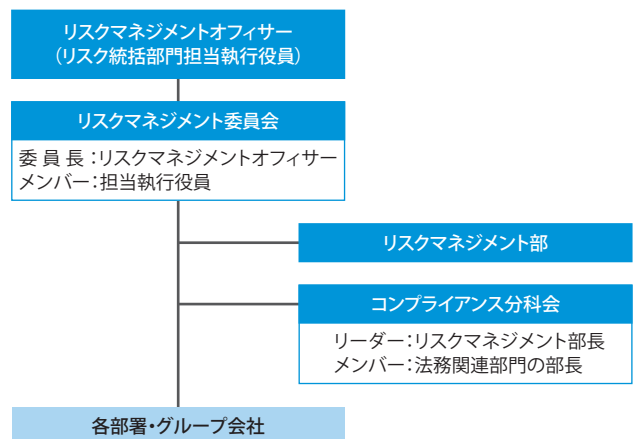
重要リスクを選定し、予防への取り組みを推進しています

シスメックスは、リスクマネジメントの強化に取り組んでいます。リスク統括部門の担当執行役員を「リスクマネジメントオフィサー」に任命し、その諮問機関として「リスクマネジメント委員会」を設置、コンプライアンスも含めたグループ全体のリスクマネジメント活動を統括しています。

2007年度には全部門でリスクを洗い出し、「製品品質」「公正取引」「情報漏えい」「安全保障貿易※」など、業務を行ううえで特に重要なリスクを選定しました。さらに、選定した重要リスクごとにプロジェクトチームを設置するなどし、未然防止策や、危機発生時の対応方法の検討を進めています。

※ 安全保障貿易：国際的な平和と安全を確保する見地から、一部の貨物や技術は、法規制によって輸出が制限されており、企業が自社の製品・サービスを輸出する場合も、輸出先や使用用途の確認が義務付けられている。

リスクマネジメント体制(2008年4月現在)



コンプライアンス分科会(2008年1月)



「安全保障貿易」に関する研修(2007年9月)

コンプライアンス

コンプライアンスコードの海外グループ会社への適用を進めています

シスメックスは、事業を進めていくうえで特に重要なコンプライアンスルールをまとめた「コンプライアンスコード」を制定しています。この中で、シスメックスにおけるコンプライアンスを、「法令遵守とともに高い倫理観にもとづいた正々堂々とした事業活動を行うこと」とであると定義しています。

このコードは、英語、中国語、ドイツ語にも翻訳し、国内グループ会社だけでなく、海外のグループ会社への適用も進めています。2007年度には4つの海外地域(米州、欧州、中国、アジア・パシフィック)の統括会社への適用を完了しました。

海外でも内部通報制度の整備を進めています

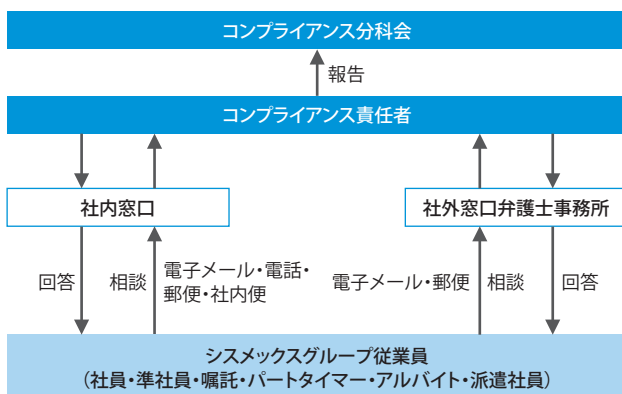
シスメックスの国内グループの全従業員を対象とする内部通報制度「カンパニユライン」は、社内と社外の2つの窓口を設置し、コンプライアンスに関する相談や通報を、電話、文書、電子メールなどさまざまな手段で受け付けています。相談・通報の内容は匿名で処理し、相談・通報者が特定されないようにしています。

海外グループ会社でも、こうした内部通報制度の整備を進めており、2008年3月現在で、31社のうち24社で設置を完了しています。



「誠実」と「感謝」の花 カンパニユ

カンパニユラインの仕組み



コンプライアンス意識の向上を目指して、啓発や教育を充実させていきます

シスメックスでは、全従業員に対して、コンプライアンスコードや通報制度の仕組みなど、コンプライアンスに関する基本事項について教育を継続して実施しています。

2007年度には、新たに「インサイダー取引」「著作権法」「廃棄物処理法」など、当社にとって重要性の高い法規制について全社教育を実施しました。

さらに2007年度は、国内グループの全従業員を対象とした、コンプライアンス意識の調査を実施しました。無記名のアンケート形式で、コンプライアンスコードの理解度や遵守意識などについて質問し、全従業員の8割以上から回答を得ました。今後、調査結果を踏まえて啓発活動や教育をさらに充実させていきます。

コンプライアンスへの取り組みが認められ、「特定輸出者」の認定を受けました

2008年2月、シスメックスは、コンプライアンス体制が整備されていることが認められ、神戸税関から「特定輸出制度」※に基づく「特定輸出者」として認定されました。

これによって、輸出手続を簡略化することができ、日本から全世界に向けてシスメックスの製品を効率的に輸出することが可能になりました。

※ **特定輸出制度**:コンプライアンスの体制などが整備された者として、税関長の承認を受けた輸出者(特定輸出者)が、保税地域などに貨物を搬入することなく、自社の工場や倉庫にある段階で輸出を申告し、許可を受けることができる制度。

臨床研究やヒトゲノム・遺伝子に関する研究内容を倫理的な観点から審査しています

シスメックスは、臨床研究やヒトゲノム・遺伝子の解析研究に取り組む企業として、「人間の尊厳の尊重」「個人情報の保護の徹底」などを基本方針とする「臨床研究開発に関する倫理規程」を定めています。

また、社外の法律・科学の専門家や、一般市民の方を含む「研究倫理委員会」を設置して研究内容を審査するとともに、委員会の議事録を当社Webサイトなどで公開することで、研究の透明性を確保しています。

揺るぎない安心と、期待を超える満足を

シスメックスは、一つひとつの製品はもちろん、お客様にご提供するサービスに関しても、その「品質」を高めていくことが大切だと考えています。そのために、従業員一人ひとりが日頃からお客様の立場に立った行動を徹底することで、揺るぎない安心とお客様の期待を超える満足をお届けできるように努めています。

ISO9001/13485※認証取得率

87% 〔ISO認証取得拠点所属の従業員数のグループの全従業員数に占める割合(2008年3月末現在)〕

シスメックス(株)を含むグループ全38社のうち21社で品質ISOの認証を取得しています。なお、グループ会社のうち、開発、生産機能を持つ会社はすべて取得を完了しています。

※ ISO13485:医療機器の品質マネジメントシステムに関する国際規格



外部品質監査(2007年8月)

中国・シスメックス済南が

A級信用生産企業に選定

中国のシスメックス済南は、工場での徹底した品質管理への取り組みが認められ、2007年12月に済南市食品医薬品监督管理局から、A級信用医療機器生産企業8社の一つに選ばれました。



表彰文書
(中国済南市食品医薬品
监督管理局Webサイト)



製品検査工程
(シスメックス済南)

品質の確保

2007年5月に新しい品質方針と行動基準を制定しました

品質方針

私たちは、ヘルスケア分野でのグローバルな企業活動を通じて、豊かな健康社会づくりに貢献します。

行動基準

1. お客様のニーズを把握し、お客様の期待を超える製品やソリューションを提供します。
2. 品質とは顧客満足であるという認識のもと、お客様の立場に立つて行動します。
3. お客様に安心していただくために、徹底した品質保証とあらゆる業務における質の向上に努めます。
4. 独創的な新しい技術とナレッジによって、新たな価値を創り続けます。
5. 使用される国または地域の法令、規格等を遵守し、安全な製品を提供します。
6. 品質マネジメントシステムの有効性を維持するとともに継続的な改善を図ります。
7. 品質方針から品質目標を設定し、目標達成に向けて計画的に取り組みます。

製品の信頼性を確保するための しきみを充実させました

臨床検査で使用されるシスメックスの製品は、人々の生命・健康を守るうえで極めて重要な役割を果たしています。それだけに万が一製品に不具合が生じた場合は取り返しのつかない事態を招くことになりかねません。

だからこそシスメックスは、製品の信頼性を確保するためのしきみづくりに徹底して取り組んでいます。

これまで、開発段階では、測定データの精度向上はもちろん、使用者の安全性確保なども目的として、製品使用時に想定しうるさまざまな問題を対象としたリスク評価を実施してきました。

さらに2007年度からは、新製品の試作という早い段階で、販売・学術・サービスの各部門のメンバーが、お客様(ユーザー)の視点から製品の性能や使いやすさ、安全性などを徹底的に検証するしきみを導入し、さらなる製品の信頼性向上を図っています。



アジア学術セミナー(中国海南 2007年9月)

アジア学術セミナー(中国、タイ、インドネシア)

1,050名の医療関係者が参加

主に医師の方を対象としたセミナーで、医学・臨床検査にかかわる最新情報を提供し、技術の普及と発展を促進しています。

2007年度セミナーの主なテーマ

- 医学・臨床検査における課題
- 検査結果の品質保証
- 血液・凝固・尿の最新検査

血液学セミナー(日本) **30年間** 継続して開催

主に検査技師の方を対象としたセミナーで、血液疾患の診断と診療に関する最新情報を提供しています。30回記念となる2007年のセミナーは、神戸、東京など5カ所を衛星中継で結んで開催、参加者は、1,000名を超えました。



学術雑誌
シスメックスジャーナル・インターナショナル

世界115カ国で配布

2007年度は合計36,000部を発行、医療機関や大学図書館に配布し、世界の多くの医療関係者の方々に臨床医学および検査に関する最新の情報を発信しました。



シスメックスジャーナル・インターナショナル

顧客満足度の向上

お客様満足度調査の分析結果を、
製品・サービスに活かしています

お客様にご満足いただける製品やサービスを提供していくためには、お客様の声をしっかりと受けとめることが重要です。

シスメックスは、新製品の性能や使いやすさから、臨床に携わる医師や臨床検査技師へのサポート、訪問サービス、コールセンターでの対応まで、幅広い項目でお客様満足度調査を実施しています。

調査結果は、品質保証部門で取りまとめ、経営トップに報告するとともに、全社で情報共有し、製品の改良やサービスの向上などに活かしています。

また、海外においても、北米、欧州、中国、アジアパシフィックの4つの地域ごとに満足度調査を実施し、その結果を日本にフィードバックしています。

医療従事者への支援

医療現場のニーズに応える
セミナーや勉強会を開催しています

シスメックスは、医師や看護師、臨床検査技師などの医療従事者の方々を対象としたセミナーや勉強会を開催しています。テーマは多岐に渡りますが、いずれも現在の医療現場に直結するものばかりです。

2007年度は、病医院の経営・管理・看護の担当者の方を対象に、「病医院が抱える経営課題」や「医療従事者の健康・安全リスク」などをテーマとした「リスクマネジメントセミナー」を東京、横浜、長崎で開催しました。

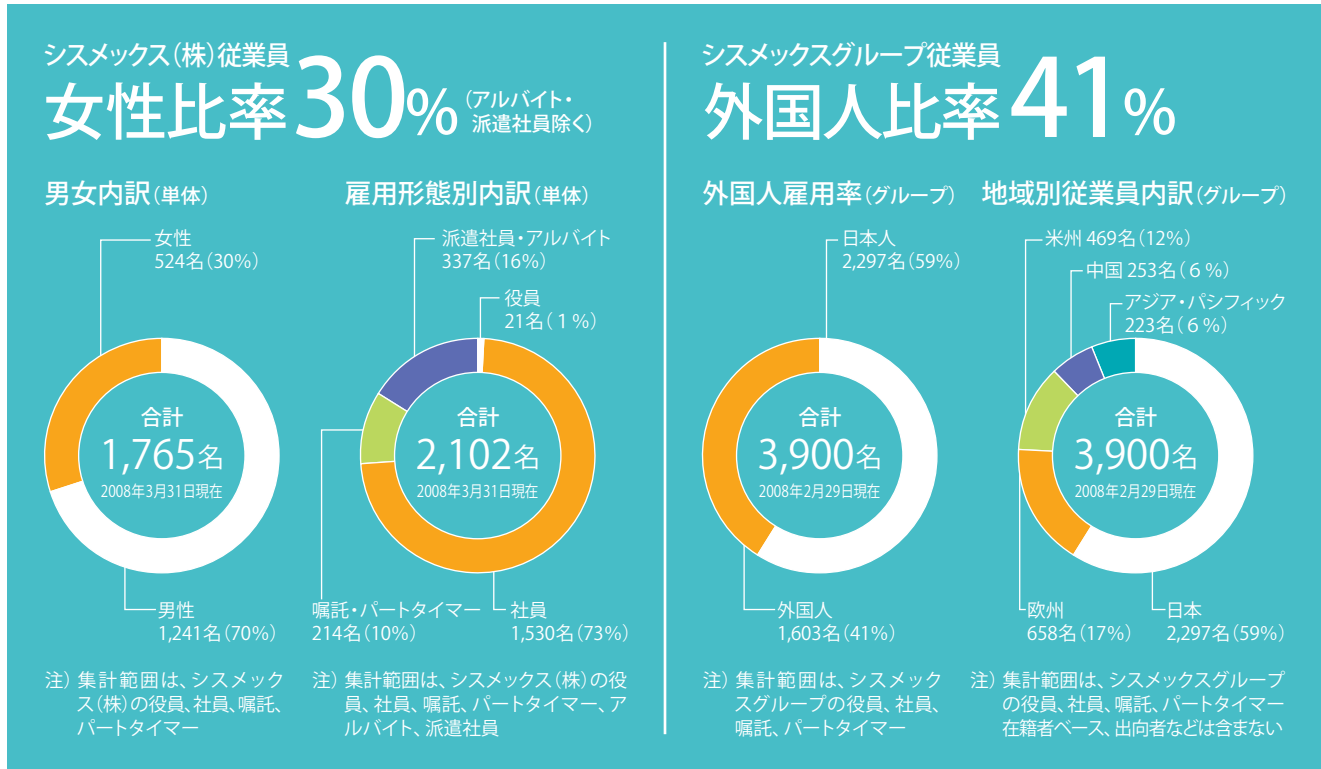
リスクマネジメントセミナー
(横浜 2007年12月)



従業員への責任と行動

一人ひとりが生き生きと働ける会社を目指して

シスメックスは、従業員一人ひとりが夢を持ち、生き生きと働く、世界で最も働きがいのある会社でありたいと考えています。そのために、公正かつ納得できる人事評価を行うとともに、従業員の能力開発と働きがいの向上を目指した人材育成プログラムを推進しています。



人事に関する基本的な考え方

「能力・成果」主義を基本として
公正かつ納得できる人事評価を実施しています

シスメックスは、「能力・成果主義」を人事評価の基本方針としています。

評価制度として、目標に対する達成度やプロセスを評価する「目標管理制度」を導入し、年功、学歴、性別などを評価の対象としないことで公平性を確保しています。また、職層・職務ごとに期待される能力・成果の基準や、目標設定から評価までのすべてのプロセスを従業員にあらかじめ開示することで公正さを確保しています。

さらにこの制度は、目標設定にあたって本人と上司が十分に話し合ったうえで目標を設定することから、納得性を確保することにもつながっています。

人材育成

能力開発と働きがい向上を目指して
全社人材教育プログラムを推進しています

シスメックスでは、研修センターが中心となって、全社人材教育プログラムを推進しています。

従業員の能力を引き出し、働きがいを向上させることを目的に、充実した教育研修を実施しています。

次代を担うリーダーの育成に力を入れています

選抜型人材育成として、次代を担うリーダーの育成を狙いとした「シスメックスビジネススクール」を開講しています。

この研修では、半年間、経営についての戦略的思考、マーケティング、ファイナンスなどを学びながら、シスメックスを取り巻く経営環境を各自で分析し、研修最終日には経営層に対して「経営課題」を提言しています。

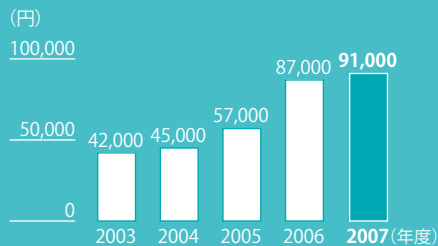


新入社員研修(2007年4月)
(2007年度新入社員67名)

一人当たり年間教育研修費

約9万円

注) シスメックス(株)の社員、嘱託、パートタイマーにおける2007年度の教育研修費



全社研修体系

区分	名称	対象者
階層別研修	役職者研修	係長以上の役職者
	3年目研修	入社3年目社員
	新入社員研修	新入社員
選抜型人材育成	シスメックスビジネススクール	社員選抜
グローバル化研修	海外現地法人派遣研修	社員選抜
	プロフェッショナル人材育成研修	社員選抜
自己啓発	語学研修	社員全員
	通信教育	社員全員
専門知識教育	部門別教育	部門社員

2007年度の海外での研修実績

海外現地法人派遣研修(5名)

派遣先	テーマ
シスメックスアメリカ(米国)	マーケティング
シスメックスアメリカ(米国)	診断薬の商品開発推進
シスメックスヨーロッパ(ドイツ)	学術活動の企画
シスメックスアメリカ(米国)	国際法務
シスメックスアメリカ(米国)	保守・メンテナンス

プロフェッショナル人材育成研修(3名)

派遣先	テーマ
法律事務所(米国)	米国特許法
コロンビア大学(米国)	海外研究者との共同研究推進
VUMC大学(オランダ)	海外研究者との共同研究推進

「入社3年目研修」を実施しました

若手人材の育成施策の一つとして「入社3年目研修」を実施しています。会社にも慣れ、仕事を振り返る余裕が出てくる入社3年目は、同時に将来についての迷いや悩みが生じる時期でもあります。この研修によって、こうした悩みを抱える従業員が、組織の中での自分の位置を把握し、キャリアを見つめ直すことを支援しています。

受講者には好評で、将来必要になる能力を確認するとともに、同期入社メンバーどうしの協働感・連帯感を再認識するいい機会にもなっています。



入社3年目研修
(2007年11月)

世界で通用する専門知識やスキルを習得するために海外での研修も実施しています

グローバル化時代においては、語学力はもとより、世界に通用する専門知識やスキルを身につけることも重要です。

シスメックスは、半年から数年間、海外現地法人で実務経験を積む「海外現地法人派遣研修」と、専門分野の知識やスキルを高めるために海外の大学などへ派遣する「プロフェッショナル人材育成研修」を実施しています。

2007年度には、計8名が両研修プログラムを利用し、医学や法律などさまざまな分野で研鑽を積みました。



海外現地法人派遣研修
(シスメックスヨーロッパ
2007年12月)

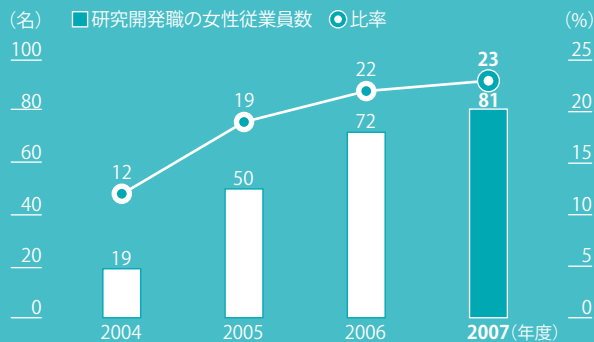
多様な人材が安心して働ける職場を目指して

シスメックスは、活力ある企業風土を醸成するために、多様な人材が、各自の能力を最大限に発揮できる働きやすい職場環境の整備に努めています。また、仕事をするうえで基本となる体と心の健康維持の支援にも力を注いでいます。

研究開発者に 占める女性の比率 23%

シスメックスでは、さまざまな分野で活躍する女性従業員の割合が増えています。研究開発の分野も例外ではなく、女性も男性と同様、テーマを持ち、自らの能力を発揮して研究開発型企業シスメックスを支えています。

研究開発に携わる女性従業員数(比率)



注) 研究開発拠点に勤務する従業員の女性比率

女性従業員向け 乳がんセミナーを開催

乳がんの早期発見・診断・治療を訴えるピンクリボン活動の一環として、2007年10月、女性従業員向けに乳がん啓発のためのセミナーを開催しました。がん医療の専門家による講演や映画上映を実施、200名を越える従業員が参加しました。



ワークライフバランス

仕事と家庭の両立を図る従業員のために 社内制度の充実に取り組んでいます

シスメックスは、従業員の「仕事と家庭の両立」の支援に取り組んでいます。

2008年5月には、育児のための休職・勤務時間短縮制度を見直し、子供にとって大切な時期にできるだけ長く一緒に過ごせるように環境を整備しました。

また2009年度には、ワークライフバランスの確保と次世代育成支援に向けて、新設する研究開発拠点「テクノパーク」(神戸市西区)内に企業内託児所を設置する予定です。今後も従業員が一層安心して仕事ができるような施策を推進していきます。

育児のための休職期間・勤務時間短縮制度の改定内容(2008年5月)

	改定前	改定後
勤務時間短縮	小学校での就学開始期まで	小学校3年の学業を終えるまで
休職期間	満1歳に達するまで	満2歳に達するまで

健康と安全への配慮

長時間労働の防止と抑制に努めています

シスメックスでは、年2回の健康診断に加えて、長時間労働の防止と抑制にも注力しています。

従業員の労働時間が過剰にならないように随時チェックし、長時間労働が発生したときは速やかに改善策を実施するとともに、必要に応じて、本人と保健師や産業医との面談・受診の場を設けています。

心の健康維持も支援しています

2007年度は、メンタルヘルスケア体制の充実に取り組みました。全事業所に相談窓口を設け、精神科の専門医や産業医、保健師、カウンセラーと従業員が個別に面談できる体制を整えました。さらに、最初の相談窓口として重要な役割を担う管理者に対して、職場内で日頃からきめの細かくフォローできるように、対応方法などの研修を実施しました。



女性従業員自身によるスキルアップ活動
サクラWG(東京支社)

安全運転講習を実施

シスメックスでは、毎年、営業部門に配属された新入社員に対して安全運転講習を実施して、交通安全の徹底を図っています。

シミュレーターで安全運転
チェック(2007年4月)



バイオハザード対策を徹底

研究開発拠点や工場では、取り扱う生物材料を厳重に管理しています。また、従業員に対して、事故や感染の未然防止策と、発生時の対応策を周知徹底しています。



テクノセンター

事業所ごとに安全衛生委員会を設置し、事故や緊急事態に備えています

従業員の安全と健康を確保するための指針として「安全衛生規程」を定めています。各事業所に安全衛生委員会を設置し、安心して働ける職場づくりに努めています。

また、事故時の応急措置や退避方法、危険性・有害性のある機械や原材料、安全装置の扱い方などについて、定期的に従業員教育を実施しています。

さらに、火災や地震などの災害についても、地元の消防署と連携しながら避難訓練や消火訓練を実施しています。



避難訓練
(テクノセンター
2007年12月)

障がい者向け 採用サイトを開設

2007年度は、新たに障がい者採用のWebサイトを開設、通年募集を開始しました。



障がい者雇用

最大限に能力が発揮できる 職場環境づくりに取り組んでいます

シスメックスは、障がいの有無にかかわらず、従業員が自らの能力を最大限に発揮できるような職場環境づくりに努めています。

2007年度には、障がいの程度に応じた仕事内容を再検討し、就業可能な業務の種類を増やしました。また、障がい者職業訓練学校の訪問、公共職業安定所主催の合同企業説明会への参加など、障がい者の採用にも積極的に取り組みました。こうした取り組みの成果として、2007年度末の雇用率は法定雇用率1.8%を達成しています。

今後も安定した採用を続けるとともに、長年に渡って就業できるような職場環境づくりに取り組んでいきます。

パートナーとして、共に成長し発展していくために

シスメックスは、原材料・部品の調達先であるサプライヤー、製品をお客様に販売する代理店との信頼関係を大切にしています。良きパートナーとして、お互いの強みを発揮しながら長期に渡って、ともに成長し発展していくために、公正な取引を実践するとともに、コミュニケーションの強化に努めています。

サプライヤー（調達先） **世界に350社**

購買方針説明会を開催

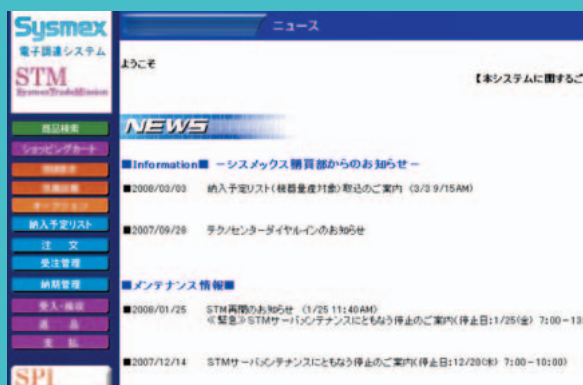
毎年、国内のサプライヤーを対象として開催し、シスメックスの経営方針と事業活動、研究開発などの状況を説明しています。また、品質、技術などの面で優秀なサプライヤーを表彰するなど、パートナーシップの強化に努めています。



電子調達システム※を強化

2007年度には、サプライヤーとの情報交換の充実とスピードアップおよび調達業務の効率化を目指して、電子調達システム「シスメックス・トレード・ミッション」の処理能力を向上させました。大容量の電子データを簡単にやり取りできるようになり、サプライヤーのユーザビリティ向上につながっています。

※ 電子調達システム：見積もりや発注、仕様書確認などをネット上で実施できるシステム。公正かつ透明性の高い取引にも役立つ。



調達に関する基本的な考え方

公正かつ透明性の高い取引を推進しています

シスメックスは、サプライヤー（調達先）とともに成長し、発展していくために、「公正かつ透明性の高い取引」に取り組むことを調達方針で定めています。

今後、取引の公正さと透明性をさらに向上させていくために、新規サプライヤーを選定する基準を明確化することや、エントリーから採用までの流れをWebサイトで公開することなどを検討しています。

調達方針

- 優れた製品の提供を通じた医療への貢献
- お取引先との信頼関係に基づく相互成長・発展
 - より良いパートナーシップ
 - 公正かつ透明性の高い購買取引
 - 関係法令の遵守と機密保持
 - 環境への配慮

公正な取引のための教育を実施しています

シスメックスでは、毎年、調達担当者に対して公正な取引に関する教育を実施しています。

さらに2007年度には、開発段階で試作品をつくるための部品・原材料を購入する場合にも、サプライヤーとの公正な取引が徹底できるよう、開発技術者に対しても下請法などのルールを説明しました。

サプライヤー（調達先）との対話

パートナーシップの強化に努めています

シスメックスは、対話を通じてサプライヤーとのパートナーシップの強化を図っています。

年1回の「購買方針説明会」に加えて、サプライヤーに独自の技術や製品をプレゼンテーションしていただく「技術セミナー」も開催し、技術開発のパートナーとしての関係も強化しています。2007年度は11回開催しました。

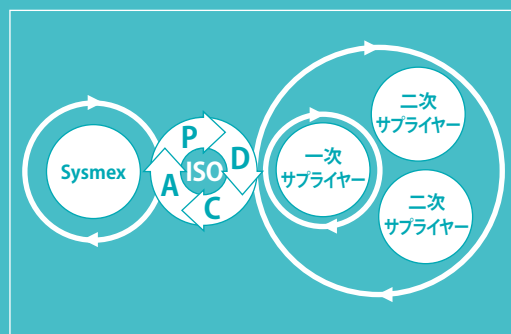


西欧代理店会議(ギリシャ 2008年5月)

サプライチェーンでの品質保証体制の構築

2007年度に、シスメックスは、一次サプライヤーだけでなくその先の二次サプライヤーも含んだ、サプライチェーンでの品質保証体制の構築に着手、まずは購買方針説明会でシスメックスの考えをサプライヤーの皆様にお伝えしました。

サプライヤーと一体となった品質保証体制



販売代理店とのコミュニケーションを強化

代理店向け新製品説明会
(2008年2月)



中南米代理店会議
(2008年5月)



アフリカ代理店会議(2007年3月)

サプライヤー(調達先)との協力

**品質面でも、環境面でも
連携して確かな製品づくりに取り組んでいます**

シスメックスは、サプライヤーから約10万点にもおよぶ部品・原材料を調達して製品を生産しています。お客様に対して確かな品質の製品を提供していくためには、サプライヤーの協力が欠かせません。シスメックスは、サプライヤーが自社の品質マネジメントシステムを自己診断するためのチェックリストを提供するなどして、サプライヤーの品質向上活動を支援しています。

また、環境面については「グリーン調達基準」を制定し、サプライヤーと協力して、各種の法規制が指定する環境負荷物質の廃止・削減に取り組み、環境に配慮した製品づくりを進めています(グリーン調達の詳細については、P.35参照)。

販売代理店との良好な関係づくり

**良きパートナーシップの基本として、
コンプライアンスとコミュニケーションを重視しています**

シスメックスは、販売代理店との関係において、良きパートナーシップを築いていくことが重要であると考えています。

国内では、「優越的地位濫用の禁止」「過剰な接待・贈物の禁止」など、遵守すべき社内ルールを定め、公正な取引に努めるとともに、代理店への訪問や新製品発売時に開催する「製品説明会」などの機会において、シスメックスのコンプライアンスの方針や活動を説明することで、販売代理店に対しコンプライアンスの重要性を認識いただいています。

また、海外の一部地域で販売・サービスについて業務提携している販売代理店に対しては、両社の経営方針や販売戦略などを説明、理解し合うことで、いっそうのコミュニケーション強化を図っています。

株主への責任と行動

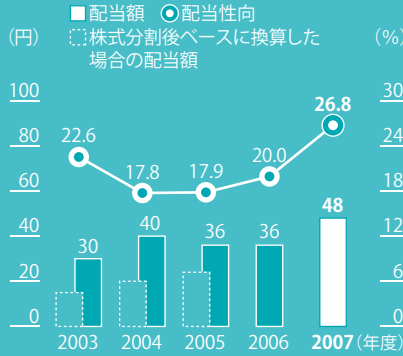
シスメックスを理解し、支持していただくために

シスメックスは、利益還元と成長投資のバランスを考慮して安定的な成長を目指しています。株主・投資家の皆様に対しては、当社の経営と事業運営についてご理解いただくために、積極的に情報を開示して説明責任を果たしています。また、充実した直接対話の機会を設け、いただいたご意見を企業活動に反映するよう努めています。

配当性向 **26.8%** (2007年度実績)

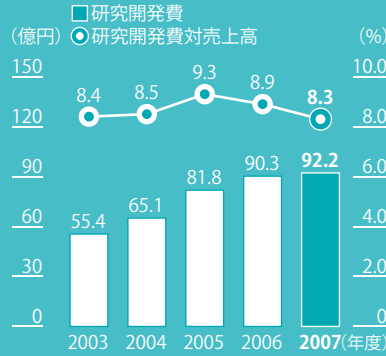
継続的な安定配当に留意するとともに業績に裏づけられた成果を配分するという基本方針のもと、連結での配当性向20%を目標に配当を実施しています。また内部留保金は、競争力の高い製品開発やグローバルな事業戦略を推進するために有効投資しています。なお2007年度の配当金については、創立40周年記念配当8円を含め1株につき48円の配当を実施しました。

配当性向 / 1株当たり配当金(連結)

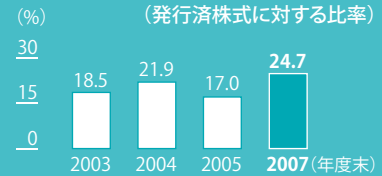


注) 2005年11月18日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。

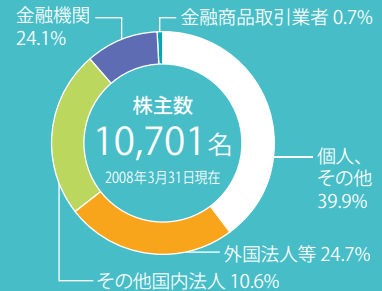
研究開発費 / 研究開発費対売上高比率



外国人
持ち株比率 **24.7%**



株主数
(前年度比) **23%増**



情報開示

適時開示規則に該当しない情報についても積極的な開示に努めています

シスメックスは、株主・投資家の皆様への説明責任を果たすために、公平、迅速、正確、そして分かりやすく情報を開示するよう努めています。

さらに、株主・投資家の皆様にシスメックスを一層深く理解し、支持していただくためには、業績や経営方針、事業戦略について、積極的に情報を開示していく必要があると考え、証券取引に関する法令や証券取引所の定める適時開示規則などを遵守することはもちろんのこと、当社独自の基準を設定して、適時開示規則に該当しない情報についても積極的に開示するよう努めています。

一方で、もし重大な問題が発生した場合には、「情報開示委員会」を開催し、情報開示の要否や方法について十分、審議する体制を整えています。

株主総会

開かれた株主総会を目指して工夫を凝らしています

株主総会は、できるだけ多くの株主の皆様に参加していただけるように、他社の総会が集中する時期をさけて開催しています。また、株主総会終了後には、シスメックスの事業や戦略について理解を深めていただくために、年度のトピックス映像の上映や、製品展示会、役員との懇談会を実施しています。

一方で、できるだけ多くの株主の皆様に参加していただく工夫もしています。総会に参加することが難しい方のために、郵送のほか、インターネットでも議決権が行使できるようにしています。また、海外に在住する株主の皆様にも十分に議案内容をご理解いただけるよう、英文の召集通知を送付、さらに総会後には決議通知も送付しています。



「アニュアルレポート2007」(写真中央)が
日経アニュアルレポート・アワード(日本経済新聞社主催)で、
「入賞」に加え「特別賞」も受賞

株主・投資家向け 技術説明会を開催

株主・投資家向けに、シスメックスの研究開発戦略や新規技術などを説明しています。2008年1月に開催した第5回の説明会では、新たに基礎的な技術を紹介するモーニングセッションも同時に開催しました。



(東京 2008年1月)

株主向けアンケート

株主通信「Be Fine!」誌上で、報告書やIRについてのアンケートを実施し、株主様のご質問やご意見に耳を傾けるなど、積極的なコミュニケーションを図っています。

株主の皆様からのご意見・ご感想(2007年第1四半期の株主通信アンケート結果)

特に印象に残った内容

1. シスメックスは検体検査の世界的企業であること
2. 血球計数分野で世界No.1シェアを獲得していること
3. シスメックスは予防医療への貢献を目指していること
4. シスメックスは女子陸上競技部に北京オリンピックを目指す野口みずき選手が所属していること

今後知りたい内容

1. 事業戦略
2. 配当政策
3. トップの経営方針・理念
4. 技術



株主通信
「Be Fine!」

積極的な対話

投資家の皆様との直接対話の機会を増やしています

シスメックスは、投資家の皆様と直接対話する機会を多数設け、経営方針や事業戦略などをご説明しています。

機関投資家・アナリスト向けに年間200件を超える個別ミーティングを実施するとともに、個人投資家向けに証券会社主催の資産管理フェアなどにも積極的に参加しています。

また2007年度には、日本の機関投資家・アナリスト向けに、初めて海外での工場見学会を実施しました。さらに外国人投



資産管理フェア
(東京 2007年11月)

資家向けには、海外で初となるラージミーティングを米国で開催しました。

こうした対話を通じていただいたご意見は、以降の企業活動に活かすよう努めています。

2007年度の投資家の皆様との主な直接対話機会

2007年5月	決算説明会	東京、大阪
6月	欧州IR活動	欧州
7月	米国IR活動	米国
9月	投資家向け現地見学会	米国
9月	ラージミーティング	米国
9月	証券会社主催個人投資家説明会	東京
10月	中国見学会	中国
11月	中間決算説明会	東京、大阪
11月	証券会社主催資産管理フェア	東京
12月	証券会社主催インベストフォーラム	東京
2008年1月	技術説明会	東京
2月	証券会社主催資産管理フェア	大阪

企業市民としての責任と行動

多彩な分野で社会に貢献

シスメックスは、企業市民として、医療、スポーツ、教育、科学技術など、さまざまな分野の社会貢献活動に取り組んでいます。また、創業の地であり、現在も本社を置く神戸・兵庫の発展に向けて、各種地域イベントやプログラムにも積極的に参加、協力しています。

無料健康チェックを実施

「親子でスポーツ体験フェア2007」(神戸市主催)、「生活習慣病予防キャンペーン2007」(健康日本21推進全国連絡協議会主催)などにおいて、採血なしで手軽にヘモグロビン量を測定できる当社製品、末梢血管モニタリング装置「アストリム」などを使った健康チェックを実施しました。



(2007年10月)



末梢血管モニタリング装置「アストリム」



(2007年10月)

スポーツサイエンスセミナーを開催

毎年、スポーツ科学や栄養学の専門家を招いて開催しています。2007年度の第6回セミナーは、「生活習慣病にはなりたくない! ジュニアへのスポーツ・健康教育について」をテーマに開催、約300名にご来場いただきました。



(2007年12月)

医療分野

自治体や教育機関と協力して 新しい検査法の研究開発を支援しています

シスメックスは、産官学が協力して神戸市への医療関連産業の集積を図る「神戸医療産業都市構想」に参画しています。2007年1月には、この構想の中心的な拠点の一つである神戸臨床研究情報センター内に「シスメックス浅野研究室」を開設しました。研究室では、血液学の第一人者である浅野茂孝教授の指導のもと、骨髄移植など細胞療法の効果と安全性の向上に寄与する新しい検査技術などの開発に取り組んでいます。

また、当社は2004年に開設した神戸大学大学院医学研究科の「立証検査医学講座」に資金協力しています。同講座は、関節リウマチなど自己免疫疾患の検査に関するエビデンスの集積などに取り組み、科学的根拠に基づいた検査診断法の確立を目指しています。

スポーツ分野

ランニング教室を開催しました

シスメックスは、「プロに学ぼうシリーズ」と題したスポーツ教室を、NPO「神戸アスリートタウンクラブ」などと協力して開催しています。

2007年7月には、谷川真理さんを講師に招いてランニング教室を開催、子供から大人まで、約120名が元気にランニングを楽しみました。谷川さんからは、早く走るコツや怪我をしない走り方について丁寧な指導をいただきました。



(2007年7月)



シスメックス女子陸上競技部の野口みずき選手が活躍
(写真は東京国際女子マラソン 2007年11月)

地元神戸・兵庫への貢献——教育、芸術、文化など多彩な分野で

トライやるウィーク

兵庫県の中高校生就業体験プログラム。当社の加古川工場でも毎年生徒を受け入れており、部品検査や資材入出庫業務などを体験していただいています。

検査工程の体験(2007年6月)



阪神淡路大震災 メモリアルコンサート

「夢」「希望」「勇気」「愛」などのテーマで、市民から公募された詩をピアノ曲をバックに竹下景子さんが朗読する「詩の朗読と音楽の夕べ」に毎年協賛しています。

(2008年1月)



神戸ルミナリエ

阪神・淡路大震災の犠牲者鎮魂の意を含め、神戸・兵庫の復興・再生への夢と希望を託して始まった「神戸ルミナリエ」に毎年協賛しています。

(2007年12月)



© Valerio Festi / I&F Inc. / Kobe Luminarie O. C.

総合芸術祭 神戸ビエンナーレ2007

芸術文化の振興と、街の活性化につながる神戸で初めての総合芸術祭に協賛しました。

(2007年10月)



教育分野

幅広い職種でインターンシップを実施しています

シスメックスでは、就業体験を希望する大学生や高専生を対象とするインターンシッププログラムを実施しています。

学生の皆さんの多様な要望にお応えして、幅広い職種で多彩なカリキュラムを用意して、企業で働く際の心構えや専門分野の業務などを学んでいただいています。

2007年度のインターンシップ実績

学生	配属先	主な研修内容
大学生	知的財産部門	特許出願など知的財産業務の習得
	受注センター部門	商品の受注および出荷業務の習得
高専生	研究開発部門	製品設計業務
	研究開発部門	製品開発、評価業務の習得

科学技術分野

財団を通じて電子計測技術に対する研究助成を実施しています

シスメックスは、1984年に当社の創業者、故中谷太郎と当社などの基金拠出によって設立された(財)中谷電子計測技術振興財団を通じて、電子計測技術を対象とした研究を助成しています。

2007年度には研究助成対象者として11名を選び、総額1,753万円の研究助成金を贈呈しました。



(2008年2月)

世界的な課題の解決に向けて

シスメックスは、自社製品の寄贈を通じて途上国でのHIV蔓延防止や母子の健康改善など、世界的な課題の解決に取り組んでいます。一方、地元学生の会社見学受け入れや事業所周辺の清掃ボランティアなど、事業拠点を置く地域の身近な貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

ドイツ

南アフリカ



シスメックスヨーロッパ・シスメックスドイツ従業員のチャリティマラソンへの参加 (2007年5月)



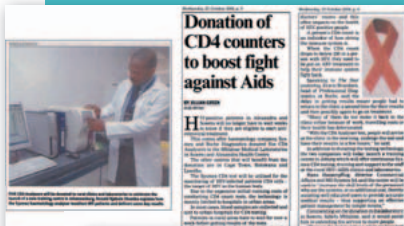
四川省大地震への支援
シスメックス上海・成都事務所の従業員による支援物資の準備、提供 (2008年6月)



中国

インドネシア

診療所で、寄贈した製品の使用方法を説明するシスメックスインドネシアのサービスエンジニア(*2)



アフリカの医療機関へのHIV検査装置寄贈を伝える新聞記事(*1) (2007年4月)

アフリカ

アフリカ諸国の医療機関にHIV検査システムを寄贈しました(*1)

HIV / エイズの蔓延防止は、「ミレニアム開発目標※」において、全世界が一致して取り組むべき重要な課題の一つに挙げられています。しかし、いまだ世界中で感染者数・患者数とともに増加の一途をたどっており、事態は深刻化しています。

ドイツにあるシスメックスヨーロッパは、当社のHIV検査装置をアフリカ各地の医療機関に寄贈、HIV感染者のウィルスのモニタリングなどに役立てていただいています。2007年度には、南アフリカ、ボツワナ、レソト、ベナンの医療機関に同製品を寄贈しました。なお、保守・点検サービスや検査に必要な試薬は、数年間に渡って無料で提供されます。

※ ミレニアム開発目標：2000年9月に189カ国の首脳が会した「国連ミレニアムサミット」で採択された「ミレニアム宣言」に基づいて、「極度の貧困と飢餓の撲滅」「HIV / エイズ、マalaria、その他の疾病の蔓延の防止」「乳幼児死亡率の削減」「妊産婦の健康の改善」など21世紀に国際社会が最も緊急に取り組むべき8つの目標を定めたもの。

アジア

インドネシアで当社製品が母子の健康状態の改善に貢献しています(*2)

乳幼児の死亡率低下や妊産婦の健康状態の改善も世界的な課題です。

2006年度にシスメックスは、こうした課題の解決に貢献するために、インドネシア各地で母子の健康状態の改善事業に取り組んでいる国際医療支援NPO「ピープルズ・ホープ・ジャパン(PHJ)」に、当社の多項目自動血球計数装置「pocH」を寄贈しました。

pocHは、ジャワ島西部バンタン州チャレナン地区の診療所に設置され、毎月20名程度の、主に妊産婦や新生児の血液検査に使用されており、貧血状態の把握や感染症の早期発見などに役立っています。

PHJの報告によれば、この事業の対象地区全体における新生児の死亡率は、年々改善されつつあるとのこと。



インドネシアの診療所で、寄贈した
シスメックス製品の使用方法を熱心に聞く
医療関係者の皆さん(*2)

日本



NPO「ピープルズ・
ホープ・ジャパン」
への製品寄贈(*2)



アフリカ開発会議写真展への協賛
(横浜 2008年6月)

シンガポール



大学生の社会見学受け入れ
(2007年6月)



米国



事業所近隣にある
ハイウェイの清掃活動

ピープルズ・ホープ・ジャパンからのメッセージ



ピープルズ・ホープ・ジャパン
伊藤さん(写真左)

2007年には、洪水の多発が一因となつて、蚊を媒介して感染する「デング熱」が流行しました。

今までは命を落としていたようなケースも、pocHの血液検査によって感染の有無を早期に発見できるようになったことで、多くの子供たちの命が救われているとのこと、チャレナン診療所の皆さんはとても喜んでます。

御社のご好意に心からお礼申し上げます。

中国とミャンマーで災害被災地の復旧を支援しています

シスメックスは、2008年5月の中国四川省大地震で被災した医療機関を訪問し、検査装置の点検や修理にあたりました。また、検査装置や試薬を寄付するとともに、その後も継続的にサポートしています。なお、ミャンマーサイクロンの被災地にも製品の寄付やサポートを実施しています。

ヨーロッパ

戦争に巻き込まれた子供たちを支援しています

シスメックスヨーロッパでは、従業員の寄付によって、ドイツのNPO「ピース・ヴィレッジ・インターナショナル(ドイツ国際平和村)」の活動を支援しています。

同NPOは1967年に設立され、戦争で荒廃した国や紛争地域で困苦を味わった子供たちを医療面、教育面で支援しています。

アメリカ

がん撲滅を目指す運動に参加しています

米国では「米国がん協会」が、ダフォディル(らっぱ水仙)の花を販売し、その売り上げを患者さんやその家族への支援などにあてる「ダフォディル・デー・プログラム」という運動を展開しています。

2007年度にシスメックスアメリカもこの運動に協力してダフォディルの花を購入しました。

地球環境との調和に向けて

シスメックスは、地球環境保全を経営の重要課題の一つとして位置づけ、検体検査分野における「環境先進企業」を目指し、開発から調達、生産、販売サービスに至る全ての事業活動で、地球環境との調和を追求しています。

環境方針

シスメックス環境方針

【基本理念】

シスメックスは、臨床検査機器、検査用試薬、粒子分析機器ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入を行っています。

豊かな健康社会づくりを担っていく企業をめざす当社にとって、環境保全への社会的責任を果たしていくことを経営の重要課題のひとつとして位置づけています。

事業活動にかかわる環境法や環境上の規範を遵守し、環境に配慮して、未来の豊かな健康社会づくりに向け自主的且つ継続的に環境保全に取り組んでまいります。

【行動指針】

1. 廃棄物の減量化、リサイクル化を積極的に推進します。
2. 省資源・省エネルギーに積極的に取り組みます。
3. 全ての事業活動において環境負荷の低減に配慮します。
4. 環境保全に関する法規制、条例、地域との取り決めおよび自主基準を遵守し社会的責任を果たします。
5. 環境目的・目標を定めて、継続的改善に積極的に取り組みます。
6. 環境への取り組み情報を適切に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。

この環境方針は、シスメックスの全従業員と関連する人々に教育、啓蒙活動を行い、周知徹底を図ります。


この環境方針は、一般の人の入手を可能とするため、一般公開いたします。

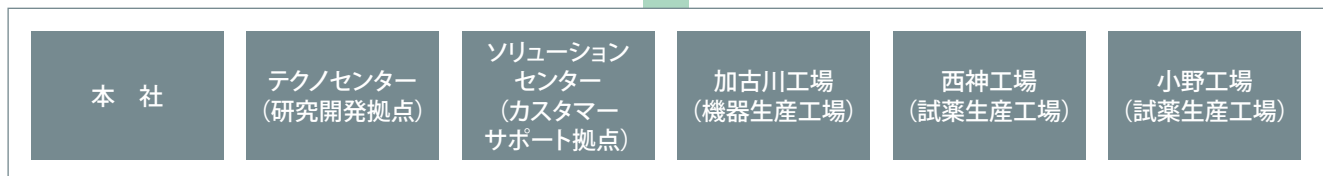
注)シスメックス環境方針は2000年3月に制定しました。その後、本社地区の事業所の環境保全活動を統合して推進するにあたり、2004年10月に改定しました。









神戸市の花あじさい

事業活動にともなう環境負荷

INPUT		
 総エネルギー	電力	15,944千kWh
	燃料(都市ガス)	276.0千Nm ³
	燃料(LPG)	42.0t
	燃料(社用車ガソリン)	48.3kl
	燃料(灯油)	43.9kl
 総物質投入量	OA紙(オフィスで使用)	42.6t
	PRTR※1管理対象化学物質取扱量	35.8t
 水資源	上水	108,330m ³



OUTPUT		
 温室効果ガス排出量		9,771t-CO ₂
 化学物質排出量 (PRTR※1管理対象化学物質排出量・移動量)		2.6t
 廃棄物量		128.6t
 リサイクル量 [リサイクル率]		497.7t [79.5%]
 廃棄物等総排出量※2		626.3t
 排水量		77,925m ³

※1 PRTR: Pollutant Release and Transfer Registerの略。有害性のある化学物質が、どのような発生源からどれくらい環境中に排出されたか、廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握・集計し、公表する制度。化学物質把握管理促進法で定められた第一種指定化学物質354物質が対象。

※2 廃棄物等総排出量: 感染性廃棄物、廃棄物、リサイクル量の合計。事業所外へ持ち出した時点での重量。

注1) 対象事業所: 環境負荷データはシスメックス(株)およびシスメックス国際試薬(株)の6つの事業所を対象としています。
シスメックス(株)・・・本社(神戸市)、テクノセンター(神戸市)、ソリューションセンター(神戸市)、加古川工場(兵庫県加古川市)
シスメックス国際試薬(株)・・・西神工場(神戸市)、小野工場(兵庫県小野市)

注2) 対象期間: 2007年4月1日～2008年3月31日

地球環境への責任と行動



2007年6月に新たに
ISO14001の認証を取得した
シスメックス国際試薬(株)の西神工場

環境マネジメント

環境マネジメント体制

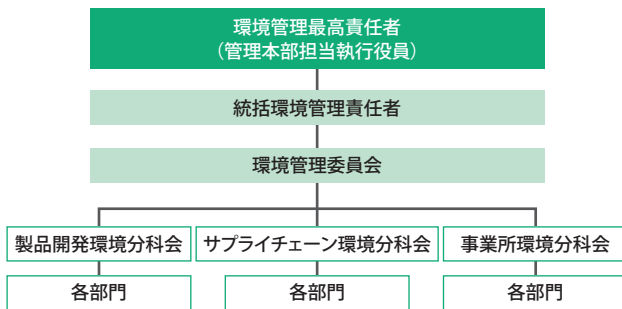
環境管理委員会と3つの機能別分科会で
環境活動を推進しています

シスメックスは、環境管理最高責任者(管理本部の担当執行役員)のもと、開発・調達・生産・販売サービスなど各機能の代表者をメンバーとする「環境管理委員会」を設置して、グループ^{*1}の方針・計画の策定や計画の進捗管理、実績評価などにあたっています。また、環境管理委員会の下部組織として、「製品開発」「サプライチェーン」「事業所」の3つの分科会を設置しています。各分科会は全社計画を詳細展開し、その進捗を管理するとともに、活動結果を環境管理委員会に報告しています。

2007年度には、この委員会体制に合わせて環境マニュアルを改訂し、説明会を開催して従業員への周知徹底を図りました。

^{*1} **グループ**:「地球環境への責任と行動」における「グループ」とは、シスメックス(株)とシスメックス国際試薬(株)からなるシスメックスグループを指します。

環境マネジメント体制



ISO14001 認証取得

新たに2つの拠点で認証を取得しました

シスメックスでは、2000年の加古川工場をはじめとして、環境マネジメントの国際規格ISO14001の認証取得を進めてきました。

取得状況として、新たに、臨床検査用試薬の製造を手がけるシスメックス国際試薬(株)の西神工場と、医療機器、情報通信機器などの製造・販売を手がけるシスメックスRA(株)(長

野県塩尻市)の2つの拠点が認証を取得しました。

ISO14001 認証取得一覧

会社名	事業所	取得年
シスメックス(株)	加古川工場	2000年 4月
	テクノセンター	2002年 2月
	本社	2002年 2月
	ソリューションセンター	2005年11月
シスメックス国際試薬(株)	小野工場	2001年 3月
	西神工場	2007年 6月
シスメックス物流(株)		2001年 3月
シスメックスメディカ(株)		2001年 3月
シスメックスRA(株)		2008年 6月
SYSMEX EUROPE GMBH	Neumünster factory(ドイツ)	1999年11月
SYSMEX DO BRASIL	Brasil factory(ブラジル)	2006年 5月

環境関連法規制の遵守

2007年度も法規制の違反はゼロでした

2007年度も、2006年度に引き続き、環境関連法規制の違反はありませんでした。

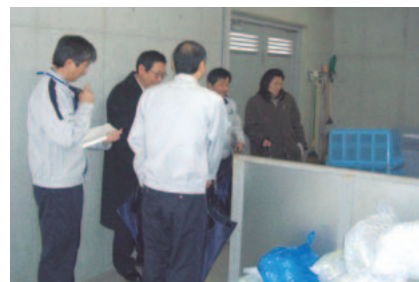
今後も継続して違反ゼロを目指します。

環境監査

内部監査の実効性向上に努めています

シスメックスでは、外部認証機関による監査を定期的に受けています。また年1回、内部環境監査も実施しています。

2007年度には、監査の実効性をいっそう高めるために、従来、内部監査員が自分の所属する事業所を監査していたのを改め、異なる事業所を監査するよう変更しました。



外部環境監査
(加古川工場 2008年1月)



2008年6月に新たに
ISO14001の認証を取得した
シスメックスRA(株)

2007年度環境活動計画と実績

機能	取り組みテーマ	2007年度の活動実績
環境 マネジメント	マネジメント強化	・推進体制の見直しにともない、環境マニュアルを改訂。事業所共通の業務基準の統合を推進。
	ISO認証取得の推進	・シスメックス国際試薬(株)、シスメックスRA(株)が認証取得を完了。
	監査体制の見直し	・環境監査員養成セミナーを実施(11月)。 ・ISO 14001の従業員説明会を開催(12月)。
製品開発	RoHS指令※2への取り組み	・規制発効に先行して新製品のRoHS対応を継続実施。 ・製品に使用されている部品の環境情報について、継続して調査を実施。 ・中国版RoHS※3の環境表示義務については対応を完了。
	REACH規則※4への取り組み	・規制対象物質の使用状況調査を実施。
	リサイクル	・WEEE指令※5への対応として、機器製品の材質・重量の調査を継続実施。 ・試薬製品について、樹脂材料を用いた容器および包装材のリサイクル標示基準を制定、基準に基づいた設計を実施。
	省エネルギー・省資源化	・製品の消費電力について、2005年度以降発売の機器4製品が、2004年度比で平均-43%を達成。 ・製品の軽量化について、2005年度以降発売の機器4製品が、2004年度比で平均-27%を達成。 ・装置から排出される廃液量について、2005年度以降発売の機器4製品が、2004年度比で平均-15%を達成。
生産	工場ゼロエミッションの推進	・3工場でゼロエミッションを推進。リサイクル率は91.4%で、前年比+20ポイント。(加古川工場98.3%、西神工場84.1%、小野工場95.0%を達成。)
	化学物質管理の徹底	・感染性廃棄物の削減について、西神工場では滅菌処理を継続、小野工場では対象物質の選定を継続して実施。 ・化学物質の取扱いについて模擬訓練を実施(加古川工場)。
調達	グリーン調達の推進	・グリーン調達基準を制定、シスメックスのWebサイトに公開(10月)。 ・国内グループ会社への適用拡大を継続して検討。
	サプライヤーへの環境活動促進	・品質・環境を盛り込んだサプライヤー選定・評価基準の見直しを実施。 ・取引先での品質と環境のマネジメントシステム構築を推進するための活動計画を策定。
物流	CO ₂ 排出状況の把握と削減	・地球温暖化防止活動に関する業務基準を制定。 ・天然ガス自動車を導入。
	エコ物流活動推進	・エコ物流ガイドラインを制定、従業員教育を実施。
販売・サービス	お客様先での廃棄物適正処理	・感染防止対策基準を制定、支店/営業所にて廃棄物処理研修を実施。 ・使用済み部品の取り扱い基準を制定。
オフィス・事業所	紙・ごみ・電気の削減	・両面印刷、会議のペーパーレス化、消灯、不要空調の停止などを推進。一部の事業所で目標未達。
	汚染リスクの徹底(水質・土壌)	・テクノパーク建設にともない、排水分析測定頻度の変更、廃水処理設備の更新、分別廃棄の徹底、廃棄物置場の監視強化、地下灯油タンクの点検・維持方法の確立などを実施。
環境コミュニケーション	環境報告書の発行	・2007年版CSR報告書を初発行。 ・第11回環境コミュニケーション大賞(環境省主催)で奨励賞を受賞(3月)。

※2 **RoHS指令**:EUで販売される電気電子機器に含まれる有害化学物質の使用禁止を定めた指令。重金属(鉛、カドミウム、水銀、六価クロム)と、ダイオキシン類の発生源となる特定臭素系難燃剤(PBB、PBDE)の使用全廃を要求したもの。

※3 **中国版RoHS**:電子情報製品汚染防止管理弁法。規制対象物質の表示義務および使用禁止を要求。

※4 **REACH規則**:企業に対して、生産・輸入する化学物質(1トン/年以上)の、「人類・地球環境への影響についての調査」「欧州化学庁への申請・登録」を義務付けるEU指令(2007年6月から段階的に実施)。

※5 **WEEE指令**:廃電気・電子機器の回収と3Rを進めるために、EUが制定し、2003年2月に発効した指令。電気・電子機器廃棄物を対象に、設計、分別回収、リサイクルの各段階で、加盟国、販売業者、生産者などに対して義務を課すもの。

環境にやさしい製品を提供するために

シスメックスは、製品の品質や性能と同様に、地球環境への配慮も製品の重要な価値の一つと考えています。この考えに基づいて、開発、調達部門が中心となってグリーン調達に取り組み、サプライヤーと協力しながら製品に含まれる環境負荷物質の削減に取り組んでいます。

環境に配慮した製品の開発

グリーン調達への協力

を依頼するWebサイトを開設



グリーン調達基準(抜粋)

1. 目的

シスメックスグループが、地球環境保全を進めることにより企業の社会的責任を果たすという環境基本方針を基に、環境に配慮した製品づくりを推進するため、地球環境への負荷が少ない原材料・部品の調達を推進し、環境保全活動に積極的なサプライヤーと共に持続可能な社会の発展を目指すことを目的に制定する。

2. グリーン調達の方針

調達活動における、当社製品の環境負荷を低減することはもとより、サプライヤーも含めた生産活動を通じた環境負荷を低減するため『グリーン調達』を実施する。グリーン調達の具体的な取組みとして、以下の2項目を推進する。

- 1) 環境負荷が少ない原材料、部品の調達を推進する。
- 2) 環境保全に積極的なサプライヤーとの取引を拡大する。

製品に含まれる環境負荷物質の削減

サプライヤーと協力してグリーン調達に取り組んでいます

シスメックスは、2006年度に「グリーン調達基準」を策定し、サプライヤーと協力しながら環境負荷物質の管理、削減に取り組んでいます。

2007年度には、使用を禁止する物質の情報をWebサイトに開示し、サプライヤーとの取引をさらに明確にしました。

製品に含まれる環境負荷物質の削減に努めています

鉛などの有害6物質の使用を制限する欧州のRoHS指令^{※1}については、現時点では医療機器は対象外ではあるものの、RoHS対応プロジェクトチームを発足し、適用に先行して削減を進めています。

2007年度には、今後発売する新製品に関して、規制対象物質の使用を禁止する社内規定を制定しました。すでに発売した製品に関しては、使用する部品の規制物質含有の有無を継

続して調査しています。また、どのような物質が、どれだけの量、どこに含まれるか適切に管理できる仕組みづくりを進めています。

なお、中国版RoHS^{※2}については、第一段階として規制対象物質に関する表示義務が課され、すでに対応を完了しています。

※1 RoHS指令：EUで販売される電気電子機器に含まれる有害化学物質の使用禁止を定めた指令。重金属(鉛、カドミウム、水銀、六価クロム)と、ダイオキシン類の発生原因となる特定臭素系難燃剤(PBB、PBDE)の使用全廃を要求したもの。

※2 中国版RoHS：電子情報製品汚染防止管理弁法。規制対象物質の表示義務および使用禁止を要求。



X線分析装置を使った調査

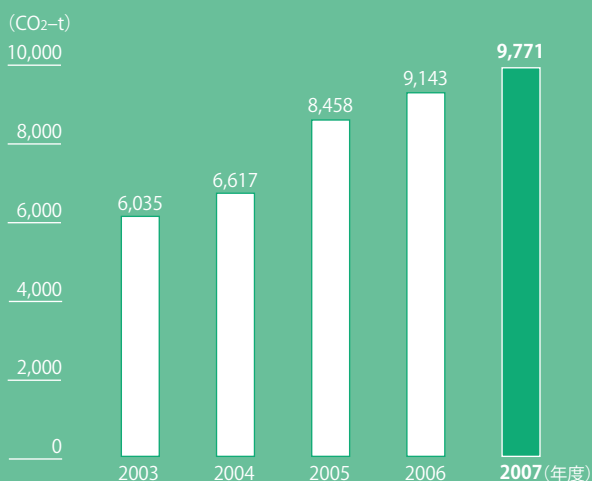
事業活動にともなう環境負荷を低減するために

シスメックスグループの国内主要6拠点—3つの国内生産拠点(加古川工場・西神工場・小野工場)と3つの非生産拠点(本社・テクノセンター・ソリューションセンター)—では、地球温暖化ガス排出の抑制や、廃棄物の削減などに継続的に取り組んでいます。

生産工場・事業所における環境配慮

温室効果ガス排出量(6拠点合計)

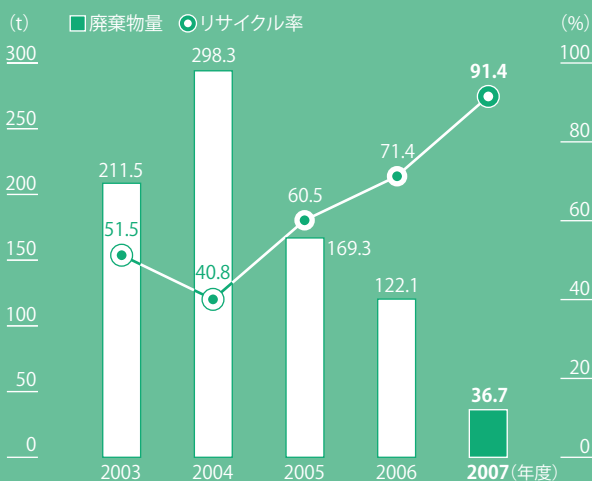
6.9%増 (前年比)



注) 集計範囲:
シスメックス(株)・・・本社、テクノセンター、ソリューションセンター、加古川工場、
シスメックス国際試薬(株)・・・西神工場、小野工場

リサイクル率(3工場合計)

91.4% (前年度から20ポイントアップ)



注) 集計範囲:
シスメックス(株)・・・加古川工場、
シスメックス国際試薬(株)・・・西神工場、小野工場

地球温暖化防止

研究開発拠点での電力使用量増加によってCO₂排出量は増加しました

2007年度の国内主要6拠点におけるCO₂排出量は9,771トンと、前年度の9,143トンに比べ約6.9%増加しました。

当社のCO₂排出の大半は電力使用によるものですが、2007年度には、研究開発拠点「テクノパーク」建設にともなう敷地の拡大や新規設備導入が主な要因で電力使用量が増加しました。今後も引き続き従業員への啓発や設備の省エネルギー化を進めて、排出量の抑制に努めていきます。

地球温暖化にかかわるエネルギー使用量(6拠点合計)

年度	2003	2004	2005	2006	2007
電力(千kWh)	9,730	10,506	13,531	14,639	15,944
都市ガス(千Nm ³)	134.9	187.9	273.3	294.8	276.0
LPG(t)	59.7	65.6	55.1	56.9	42.0
ガソリン(kl)	34.2	41.9	45.1	50.1	48.3
灯油(kl)	38.2	40.7	44.1	47.4	43.9

廃棄物の削減

工場のゼロエミッションに向けて着実に廃棄物削減を進めています

加古川工場、西神工場、小野工場の3工場では、2006年度からゼロエミッションを目指して、総排出量の削減に努めるとともに、分別回収を徹底してリサイクルを推進しています。

2007年度には廃棄物処理業者と協力して、分別方法を見直しました。こうした取り組みの結果、2007年度のリサイクル率は、91.4%と、前年度の71.4%と比べて大幅に向上しました。目標を前倒しして2008年度達成を目指します。



リサイクルボックス
(加古川工場)



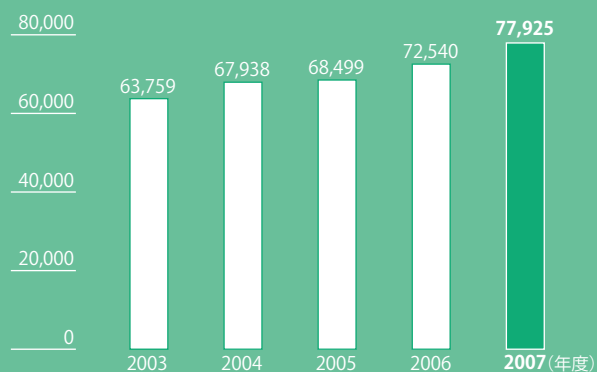
加古川工場中庭

水排出量(6拠点合計)

7.4%増 (前年度比)

(m³)

100,000



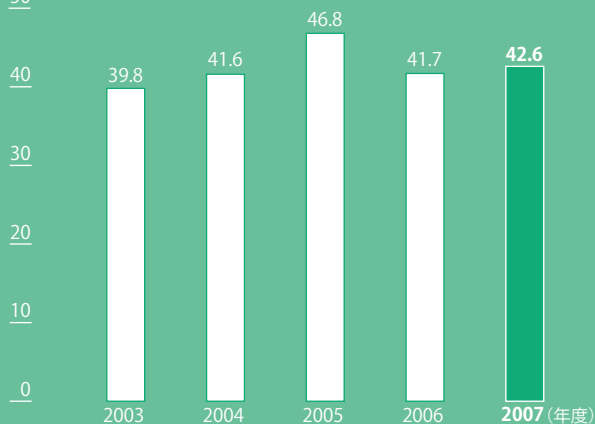
注) 集計範囲: シスメックス(株)・・・本社、テクノセンター、ソリューションセンター、加古川工場、シスメックス国際試薬(株)・・・西神工場、小野工場

OA紙使用量(6拠点合計)

2.2%増 (前年度比)

(t)

50



注) 集計範囲: シスメックス(株)・・・本社、テクノセンター、ソリューションセンター、加古川工場、シスメックス国際試薬(株)・・・西神工場、小野工場

感染性物質の管理と処理

感染性物質は厳重な管理を行い、廃棄する際は滅菌処理を施しています

西神工場では、生物由来の原料を使用しています。

こうした物質は、病原体による感染の可能性を完全には否定できないことから、保管・使用場所を制限するなど厳重に管理するとともに、廃棄する際には、原料に触れた手袋も一緒に滅菌処理を施しています。



感染性廃棄物処理装置 (西神工場)

オフィスにおける環境配慮

OA紙使用量削減に努めています

シスメックスでは、オフィスなどで使うOA紙の使用量抑制を目指して、ペーパーレス会議やリサイクルボックス使用を促進しています。

2007年度は、ほとんどの拠点で前年度から使用量を低減することができましたが、全体としてはわずかに上回りました。

今後も引き続き従業員への啓発に努めていきます。



リサイクルボックス (テクノセンター)



テクノパーク

製品輸送に

エコトラックを利用



排出ガスがクリーンでCO₂排出量が少ないエコトラック(天然ガスを燃料とするトラック)を、シスメックスの倉庫(兵庫県)と物流会社の倉庫(大阪府)との間の輸送に利用しています。

環境に配慮した 新研究開発拠点「テクノパーク」



環境配慮の主な工夫

- 敷地の50%以上を緑化
- ビオトープを設置
- 空調使用を低減する建物構造

概要

- 所在地: 兵庫県神戸市西区
- 名称: シスメックス テクノパーク
- 土地面積: 約7.2万平方メートル
- 新規建造物: 研究開発棟(10階建て)、特別実験棟(2階建て)
- 工事期間: 2006年9月~2008年9月

物流における環境負荷低減

グループ会社と協力してエコ物流を推進しています

シスメックスは、グループ会社であるシスメックス物流(株)と協力してエコ物流に取り組んでいます。

当社の倉庫から物流倉庫への輸送には、排出ガスがクリーンでCO₂排出量が少ない天然ガストラックを導入しています。また倉庫から販売代理店への輸送については、販売代理店にご理解とご協力をいただきながら、輸送量や輸送距離、輸送経路、輸送回数などのデータを定期的に収集し、見直すことでCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

2007年12月には、エコ物流をさらに推進していくために「物流部門における地球温暖化防止活動基準」を制定しました。また2007年度には、シスメックス物流(株)の従業員に対して、この活動方針や3R(Reduce: 削減、Reuse: 再利用、Recycle: 再資源化)に関する教育を実施しました。

製品廃棄における環境配慮

リース製品を責任を持って引き取り、適切に処理しています

シスメックスが販売した医療機器は、病院など医療機関の所有となり、それぞれの医療機関のルールに沿って廃棄されています。

一方、医療機関に対してシスメックスが機器をリースしている場合もあり、その場合、機器はシスメックスの所有となります。リース期間が終了した機器については、「製品廃棄マニュアル」にしたがって、シスメックスが責任を持って引き取り、廃棄しています。

機器は、まずシスメックスが感染防止の処理をしたうえで引き取り、保管します。その後、委託した医療廃棄物処理業者によって焼却され、熱エネルギーとしてリサイクルされます。なお、こうしたプロセスを適切に管理するために、機器1台1台のマニフェストを作成しています。



シスメックス株式会社

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1

Tel. 078-265-0500 (代表) Fax. 078-265-0524

www.sysmex.co.jp



この冊子は、環境に配慮した用紙と大豆油インキおよび水無し印刷を採用しています。